会長のページ　医師の休日 …… 河野　雅行　3
COVID-19報告　新型コロナウイルス感染症に係る
県医師会の動き（11月12日現在）…… 吉田　建世　4
日州医談　オンライン診療の現状と課題 …… 荒木　早苗　6
随　　筆　何年になりますか？ …… 谷口　二郎　8
エコー・リレー（544）…… 柳田かえで，近間　浩史　11
メディアの目　患者の姿勢 …… 梅山　　崇　12
私が推薦する本　元彼の遺言状 …… 永井　公洋　18
宮崎大学医学部だより（臨床神経科学講座 脳神経外科学分野）… 大田　　元　26
部会だより（産業医部会）…… 瀬ノ口洋史　27
診療メモ　不妊治療について …… 山内　憲之　60
宮大医学部学生のページ
コロナ禍での学生会とその活動 …… 江藤　佑子　62

あなたできますか？（令和元年度医師国家試験問題より）…… 10
叙勲・祝賀 …… 13
表彰・祝賀 …… 14
ベストセラー …… 19
宮崎県感染症発生動向 …… 20
各郡市医師会だより（西臼杵郡医師会，宮崎大学医学部医師会）…… 22
各種委員会（介護保険委員会）…… 28
九州医師会連合会第388回常任委員会 …… 30
日医インターネットニュースから …… 32
医師国保組合だより …… 34
追悼のことば …… 36
会員の異動・変更報告 …… 38
理 事 会 日 誌 …… 40
県 医 の 動 き …… 44
ドクターバンク情報 …… 45
行　事　予　定 …… 51
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会 …… 53
令和２年総目次 …… 64
あ　と　が　き …… 82

お知らせ　女性医師の皆様へ（マタニティ白衣の貸出し）…… 29
年末・年始の休館について …… 31
医療勤務環境改善支援センター …… 37
宮崎県医師会メーリングリストのご案内 …… 43
日州医事へのご意見・ご感想 …… 49
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！…… 59
医師資格証を持ちましょう …… 77
郡市医師会への送付文書 …… 78

医師の心得

1．私たちは，皆さまの
健康状態をよくお聞きします。

2．私たちは，皆さまに
最善の医療を提供できるよう心がけます。

3．私たちは，皆さまに
医療内容をよく説明し，一緒に医療を行います。

4．私たちは，皆さまの
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。

5．私たちは，皆さまの
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人　宮崎県医師会

（平成 14 年 3 月 12 日制定）

〔表紙作品：油絵〕

いざない

数年前に描いた100号の大きい作品です。還暦を迎えたとき，友人とチェロ教室に通い始めました。10年以上通って腕はさっぱりでしたが，とても楽しいすばらしい時間を得ました。その友人をモデルに描かせてもらい明るい作品に仕上がりました。迷いなく描いていた頃で，今は施設の壁面に掛けてあります。

西都市　安藤（あんどう）　宣（のぶ）

会長のページ

医師の休日

河野雅行（かわの まさゆき）

診療などでお忙しい毎日と思いますが，皆様は休日をどのように過ごされていますか？

まず，趣味を挙げられる先生方が多いのではないでしょうか。読書，芸術的な創作活動，アウトドアキャンプ，登山，魚漁，旅行，ゴルフ，家庭菜園などなどを挙げられる方も多いと思います。中には滞った仕事や，まとめて研究や執筆，学会準備に精を出される方もあるでしょう。しかし今般はコロナ感染症のせいで趣味の活動も制限を受けられていると聞きます。日州医事に投稿された先生方の記事によりますと，さまざまな趣味や人生の楽しみ方について寄稿いただいており，毎回楽しく，一方で羨ましく読ませていただいています。

私の場合は特筆できるようなものはありません。若い頃には人並みにさまざまなことにチャレンジしましたし，誘われればゴルフなどにも参加していました。しかしどれも上達せず現在まで継続しているものはほとんどありません。しかも当時は医局時代から開業したての頃であり，子育てにも忙しく，充分な余暇もありませんでした。それでも時間が取れる限りは子ども中心に動いていました。休日にまで動き回るので体は疲れましたが，精神的には充足していたようです。そのうちに子どもが親離れをして，遊んでくれなくなりました。ここ数年は孫が相手をしてくれていましたが，それも成長とともに爺離れをして遊びに来る機会が減ってしまいました。もっとも，来ても元気に走り回る孫の活動に体力がついていけませんし，遊びの内容に知力がついていけなくなっています。年を経るに従い私の社会的な付き合いで会合飲食の機会が増え，週末は深酒をして日曜日は二日酔いの日々が続きました。それも最近はほとんどの飲食をともなう会合が中止になり，そのような機会も減ってしまいました。

診療の合間には次の休日には・・・をしよう，その次は・・・をと妄想していますが，いざ休日になればやりたいことが何だったかを見失ってしまい，だらだらと一日を無為に過ごして，夜になると仕残したことが多くあり，一日が勿体なかったような気がして後悔を繰り返しています。その休日も月に１～２日しか取れません。

先号にも既述しましたように何か趣味をと思っても，いざ取り掛かろうとすれば手順を考えたりあれこれ悩んでいるうちに面倒になり，「良い歳をしていまさら」との考えに至りいつも始める前に中断しています。第一，この歳になっても自分で何をしたいのかが分かりません。最近の休日は「何もしないのが本来の休日だ」と負け惜しみを言いながら開き直っています。

先生方で休日の素敵な過ごし方をご存知の方はぜひアドバイスをお願いいたします。

（令和２年11月10日）

COVID-19報告

新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き（11月12日現在）

宮崎県医師会 常任理事　吉田建世（よしだ けんせい）

国内では，11月11日，新型コロナウイルス感染症の新規感染者が1,544名確認され，１日あたりの感染確認が1,500名を超えたのは，８月８日以来のこととなり，日本医師会中川俊男会長は，記者会見で，新型コロナウイルス感染症に対し，「第３波と考えてもよいのではないか」との認識を示した。大都市や，北海道をはじめ寒い地域の感染拡大が目立ってきている。

国は，冬のインフルエンザ流行期に向けて，新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの鑑別ができるように，新型コロナウイルス感染症の検査・診療の体制を新しく構築することにした。かかりつけ医に，「診療・検査医療機関」になっていただくように，県行政が募集したところ，11月６日現在328の医療機関に登録していただいて，各地域にほぼ均等に登録があり，先生方のご協力に謝意を表したい。

発熱者や風邪の症状がある人は，まずかかりつけ医に電話をして相談することになっている。かかりつけ医でも，医療機関の構造上の制約や医師やスタッフの状況などの理由で，診ることができない医療機関もあるので，そのような時は，近くの「診療・検査医療機関」を紹介するか，「新型コロナウイルス感染症受診・相談センター」（電話番号0985-78-5670）に電話して相談することになっている。

現在，「診療・検査医療機関」の体制は，診療時間帯のみの対応となっており，まだ夜間や休日の対応はできていない。発熱患者さんには，早めの日中の受診を勧め，直接医療機関を受診せず，かならず前もって電話するように，県行政へ広報・啓発をお願いしている。

11月12日現在の県医師会のCOVID-19関連の主な活動を報告します。

【主な活動】

１　会議等

10月13日　県議会新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会調査（会長他）

10月28日　県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長，吉田常任理事，峰松理事）

11月６日　県医療審議会（会長，濱田副会長，池井常任理事）

11月10日　県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）

そのほか，常任理事協議会，全理事協議会，六役会などにおいて協議を重ねている。

２　日本医師会からの情報収集

10月30日　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会【日医TV会議】

3　会員への情報発信等

FAXニュースの発信

10月14日	FAXニュースNo.466　新型コロナウイルス感染症への対応について（37） ・延岡市で患者発生 ・診療・検査医療機関と補助金に関する解説資料 ・FAXニュース№465　「補助金の例」の訂正
10月20日	FAXニュースNo.467　新型コロナウイルス感染症への対応について（38） ・慰労金・支援金の申請をお忘れなく ・診療・検査医療機関の体制確保補助金についての補足
10月23日	FAXニュースNo.468　新型コロナウイルス感染症への対応について（39） ・発熱患者の診療・検査を実施する「診療・検査医療機関」への参加をお願いします（再依頼）
11月６日	FAXニュースNo.469　新型コロナウイルス感染症への対応について（40） ・診療・検査医療機関の登録について ・発熱患者を自院で診られない場合の対応について ・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度〔休業補償・死亡保障〕のご案内（11/９募集開始）

4　患者発生状況

１）感染者数（10月13日以降）　８名　　※令和２年11月12日　13時現在

10/13	10/23	11/２	11/３	11/５	11/８
1	1	2	2	1	1

日州医談

オンライン診療の現状と課題

常任理事　荒木早苗（あらきさなえ）

10月上旬，政府が初診からのオンライン診療を恒久化する方針を明らかにしたとの報道がありました。初診からのオンライン診療は，新型コロナウイルスの院内感染防止などを目的に，収束までの特例措置として今年４月，時限的に解禁されていたものです。これに対し日本医師会は，オンライン診療はかかりつけ医が対面診療の補完として活用すべきものとする見解を改めて示しています。オンライン診療についてこれまでの経緯と現状，課題について簡単に記載します。

オンライン診療の経緯

新型コロナウイルス感染症の拡大により，国民の関心も高まっているオンライン診療ですが，今回の感染症発生以前にも普及の契機となるポイントがありました。オンライン診療は，従来，医師－患者間における情報通信機器を用いた診療（いわゆる「遠隔診療」）と呼ばれていたものが，平成30年４月の診療報酬改定において「オンライン診療」と命名されたものです。医師法第20条（昭和23年）では無診察治療等は禁じられていますが，平成９年，厚生省健康政策局長により「直接の対面診療を行うことが困難である場合（例えば，離島，へき地等の患者）には直接の対面診療と適切に組み合わせて行われるときは，遠隔診療によっても差し支えないこと」との通知が出されました。その後，この通知に示した「離島，へき地の患者の場合」等は例示であり，遠隔医療は直接の対面診療を行ったうえで行わなければならないものではないという厚生労働省事務連絡（平成29年）が出されたため，オンライン診療が解禁されたとの解釈により，一気に広がる動きがでてきました。

オンライン診療は，元々は対面診療の補完として離島やへき地の患者など限定的に行われることが想定されており，日常的に行うものについては明確な基準やルールがなかったため，平成30年３月に厚労省が「オンライン診療の適切な実施に関する指針」を策定しています。そして，今年の新型コロナウイルス感染症の拡大により，時限的・特例的な対応として初診からのオンライン診療が認められることとなりました。

オンライン診療の検証と課題

新型コロナウイルス感染症対策としてのオンライン診療は，厚労省の「オンライン診療の適切な実施に関する指針の見直しに関する検討会」にて３か月ごとに実績の検証が行われています。その検証の中で，一部において，物理的に大きく離れた地域（東京都－北海道，千葉県－大分県など）に対して診療が行われていたことや，時限的・特例的な取扱いで禁止されている麻薬・向精神薬の処方等が行われていたこと等の不適切な利用が明らかとなっています。

また，日本医師会はオンライン診療のリスクとして，医師のなりすまし（にせ医者など）や患者のなりすましがありえることも挙げています。医師のなりすましでは不適切な医療により患者の健康被害発生の危険性がありますし，患者のなりすましでは薬剤不正入手，健康保険の不正使用などが起こりえます。なりすましのリスクを回避するためにはオンライン資格確認などの環境整備も重要になってきます。

オンライン診療についての日本医師会の考え方

中川日医会長は10月28日の定例記者会見において，オンライン診療についての日本医師会の考え方を次のように述べています。

1．定期的な医学管理を行っている患者に対して，かかりつけ医の判断により，オンライン診療を適切に組み合わせる。
- 解決困難な要因によって，医療機関へのアクセスが制限されている場合（へき地・離島，医療資源の少ない地域，難病・小児慢性疾患，在宅医療，出産前後の一定期間等）。特に在宅医療では，対面診療で把握しきれない療養環境を確認することが，今後の治療に有効であるケースもある。

2．受診歴のある広い意味でのかかりつけの患者に対しては，対面診療と同等以上の安全性・信頼性が確認される場合に，医師の判断により，一時的にオンライン診療で補完する。
- 新型コロナウイルス感染症下での時限的・特例的対応では，対面診療における新型コロナウイルス感染症への感染に比べて安全性が高いとされ解禁されたが，時限的・特例的対応終了後は，平時の対面診療における安全性・信頼性との比較検証が必要。

3．受診歴がなく，かつかかりつけ医からの情報提供もない「新患」は不可。ただし明確な判断基準の策定・合意の下で可とするケースもあり得る。たとえば，現状，以下のケースで認められている。
- 禁煙外来が「定期的な健康診断等が行われる等により疾病を見落とすリスクが排除されている場合であって，治療によるリスクが極めて低い」（オンライン診療指針）として該当。また，緊急避妊に係る診療について，地理的要因がある場合で，対面診療が困難であると判断した場合，研修を受講した医師が初診から診療可能。

4．自由診療は，「オンライン診療指針」あるいは別の規定により厳格な運用が必要。
- 診療報酬は施設基準，算定要件が課されているが，自由診療にはそれに相当する規制がない。また，自由診療は，緊急性・必要性に鑑みて初診オンライン診療を行う必要性はきわめて低い。

5．上記にオンライン服薬指導を組み合わせるかどうかは別途個別に判断する。

また，かかりつけ医によるオンライン診療であっても，以下のような不安があると３つの課題を挙げています。

① 医療訴訟の不安
患者と医師のしっかりとした信頼関係が必ずしも十分でないケースにおいて，対面診療に比べて情報が少ない中で，必ずしも適切な診断にいたらず，医療訴訟につながりやすくなるのではないかとの不安がある。

② 医師のプライバシー流出の不安
オンライン診療の動画を，SNSに無断でアップされることを防ぎようがないという不安。医師のプライバシーも配慮される必要がある。

③ オンライン診療システム利活用への不安
情報システム機器やソフトに疎く，高額なサービスや過剰なサービスの契約に追い込まれるケースや，ITに不慣れなケースがある。日本医師会としても情報提供や研修を行う予定であるが，業界の協力も不可欠。

医師にとっても医療訴訟やプライバシー保護などの不安を取り除き，安心して診療を行うことのできる環境を整えることも重要な課題です。

対面での診察は，問診・視診・触診・打診・聴診にて行い，必要に応じて検査も行うことができます。一方，オンライン診療で可能なのは問診と視診の一部のみであり，診療行為の範囲が異なることから，対面での診察と同等となることはありえません。しかしながら，これまで解決困難な要因によって医療機関へのアクセスが制限されていた患者へ医療が提供できるようになることは有益なことです。現在，新型コロナウイルス感染症への対応として時限的・特例的に実施されているオンライン診療の検証結果を踏まえ，単に患者の利便性のみを優先する診療ではなく，患者にとって真の利益となる医療を提供できるよう，適切な環境やルールの整備が求められます。

随　筆

何年になりますか？

宮崎市　たにぐちレディースクリニック　谷口二郎（たにぐち じろう）

最近いろいろな居酒屋，バーやスナックなど飲食店を訪れるたびに尋ねることがある。それは「この店は出来て何年になります？」と聞くことだ。中には「出来てまだ１週間しか経っていません」という店もあり，あるときは「あなた様がこの店の初めてのお客様です」と言われたこともある。なぜそんなに出来たてすぐの店が分かるのか。

おそらく普通だったらたまたま歩いていて新しい店を見つけたら，「ちょっと寄ってみよう」という気持ちでふらりと入るということになるだろう。しかし私の場合万全の下調べをして寄るのだ。

幸いなことに，私の今住んでいる所は宮崎一の歓楽街のニシタチの外れにあるのだ。歩いても１分もかからない。もうこれ以上ないという好条件の所にある。

店を作り始めて出来上がるまで２～３か月はかかる。全く新しいビルにできるものもある。だが多くは前にあった店を壊してリニューアルする。その工事を行っているのは朝７時ころからだ。夕方くらいまでには終わらないと，周りの店に迷惑をかける。工事のために車が何台も路上駐車になっている。工事の騒音もある。だから遅くとも夕方４時くらいまでには仕事が終わる。その日の仕事が終わると青いシートが掛けられる。その後あっという間にその姿を現してくる。

最初は何の店か分からないのだが，だんだん○○屋さんと分かるようになる。だいたい内装が出来上がるといよいよ，調理道具が運び込まれる。オープン２～３日前にはたくさんの花と開店花輪が飾られる。そうなるとそろそろオープンも近い。

私の場合出来るだけオープンするその日に行くようにしている。しかしその日は招待客で一杯で入れないことが多い。中は知り合いや親戚の人で一杯なのだ。だから１週間くらいして行く。するとほとんどお客さんの姿はない。

古い建構えの店もよく入る。そしてまず尋ねるのが「この店は出来て何年になりますか？」ほとんどの店は４～５年というのが多い。しかし中には「30年になります」と胸を張るマスターもいる。そういう店はカウンターは塗装が剥がれ，トイレも古い感じがして今一つである。勿論その間にいろいろリニューアルをしているので，決して不愉快な空間ではない。

また長続きしている店は夫婦で切り盛りしている店も多い。それは人を雇わないので人件費がゼロなので値段が安い。しかも美味い店が多い。捻くれた私みたいな客でも上手く取り扱ってくれ，殿様気分になりほっこりとした気分で帰ることができる。これがチェーン店で店員がアルバイトばかりだとこうはいかない。何を尋ねても「店長に聞いてきますからお待ちください」。だから何となく落ち着かないのである。

ところで当クリニックは今年８月で開業35周年を迎えた。まさかこんなに長く続くとは思わなかったので，驚くやら，これからどうしていけば良いのか困惑している。

35年前同じ時期にオープンした飲屋が数軒ある。ある店はピアノバーでサティの曲をいつも

弾いてくれていた。私と同じ年齢であるが，今年他界された。ある店は昭和の歌謡曲やフォークソングをレコードでかけてくれる店だった。私の誕生日には似顔絵を描いてくれた。それはとても私に似ていて，今でも外来の棚に飾ってある。その方も60代後半で，肝臓癌で亡くなった。

このようにいわゆる行きつけだった店が次々閉店すると，こちらも心が落ち込んでしまう。みんな優しくて，思いやりがあって良い人ばかりだったからだ。

しかしいずれ人間は仕事を辞めるときがくる。そのとき「あの人は良い人だったなぁ」「もうちょっと頑張ってくれれば良かったのに」「本当に惜しい人を失くしたわ」なんて言われながら一生を終えたいものだ。

まだそう言ってくれる人はいないので，粛々と仕事を続けていくしか術はないのかもしれない。まぁ私の場合，仕事が楽しいので，体の許す限りはベストを尽くしたい。まだリタイヤという言葉はまだ今のところはない。

以下写真は，当クリニックの歴代の写真です。

写真①

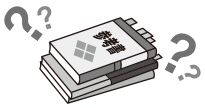
① 父は昭和17年（1942年）に宮崎市上野町で開業しました。そこは以前牧場だったということでした。しばらくして近くに青空市場が出来，宮崎の歓楽街になっていきました。昭和45年に父が亡くなると，しばらくは病院の建物はそのままになっていました。

写真②

② 昭和60年（1985年）８月20日。父から譲り受けた松橋の土地で開業しました。ここは以前畑になっていて，たくさんの野菜が植えられていました。その後天満橋が通ることになり，立ち退きになったのです。

写真③

③ 平成13年（2001年）１月１日に実家の上野町の父の病院の跡地に“たにぐちレディースクリニック”として新規開業しました。21世紀の幕開けの日で，新世紀を祝ってたくさんの花火が打ち上げられました。ここで開業してもう20年が経ちました。



あなたできますか？

－令和元年度　医師国家試験問題より－

（解答は81ページ）

1．病態や疾患と欠乏が疑われる微量元素やビタミンとの組合せで正しいのはどれか。
　a　匙状爪――――銅
　b　味覚異常――――亜　鉛
　c　出血傾向――――ビタミン A
　d　ペラグラ――――ビタミン B_2
　e　骨軟化症――――ビタミン C

2．挙児希望のある関節リウマチの女性に対して，妊娠前にあらかじめ中止すべき治療薬はどれか。
　a　タクロリムス
　b　インドメタシン
　c　エタネルセプト
　d　メトトレキサート
　e　サラゾスルファピリジン

3．女性の乳房腫瘤で乳癌を最も示唆するのはどれか。
　a　随伴する疼痛
　b　乳頭部の熱感
　c　平滑な腫瘤表面
　d　白色の乳頭分泌物
　e　大胸筋前面での可動性低下

4．患者の発言で最も統合失調症が疑われるのはどれか。
　a　「いつも自殺したいと考えています」
　b　「自分の考えていることが周りの人に伝わってしまいます」
　c　「映画を見ているような感じで，周囲の景色に実感がありません」
　d　「汚くないとわかっていても何度も手を洗わないと気がすみません」
　e　「検査で体に異常はないと言われたけれど，間違いなく癌だと思います」

5．女性化乳房の原因となり得るのはどれか。**３つ選べ。**
　a　肝硬変
　b　尿崩症
　c　精巣腫瘍
　d　ACTH単独欠損症
　e　ドパミン受容体拮抗薬

6．泌尿生殖器の解剖で正しいのはどれか。**２つ選べ。**
　a　尿膜管は膀胱三角部に開口する。
　b　射精管は前立腺部尿道に開口する。
　c　右副腎静脈は右腎静脈に流入する。
　d　精巣動脈は内腸骨動脈から分枝する。
　e　尿管には３か所の生理的狭窄部位がある。

7．触診上，皮膚表面が平滑なのはどれか。
　a　脂肪腫
　b　Bowen病
　c　尋常性疣贅
　d　脂漏性角化症
　e　ケラトアカントーマ

8．麻疹ウイルスと同様の感染経路別予防策を要するのはどれか。
　a　A群レンサ球菌
　b　ムンプスウイルス
　c　水痘帯状疱疹ウイルス
　d　多剤耐性緑膿菌〈MDRP〉
　e　メチシリン耐性黄色ブドウ球菌〈MRSA〉

9．71歳の男性。６か月前からの排尿困難と夜間頻尿を主訴に来院した。既往歴および家族歴に特記すべきことはない。身長162cm，体重60kg。体温36.4℃。脈拍72/分，整。血圧154/82mmHg。呼吸数14/分。腹部は平坦，軟で，肝・脾を触知しない。直腸指診で横径40mm程度の前立腺を触知するが硬結を認めない。尿所見：蛋白(−)，糖(−)，沈渣に赤血球と白血球とを認めない。血清PSA2.5 ng/mL（基準4.0以下）。国際前立腺症状スコア28点（軽症０～７点，中等症８～19点，重症20～35点）。腹部超音波検査で推定前立腺体積60mL。尿流測定で排尿量120mL，最大尿流率2.5mL/秒，残尿量240mL。
　治療薬として**適切でない**のはどれか。
　a　α_1遮断薬
　b　抗コリン薬
　c　抗男性ホルモン薬
　d　５α還元酵素阻害薬
　e　PDE5〈phosphodiesterase 5〉阻害薬

10．５歳の男児。夜尿を主訴に父親に連れられて来院した。毎晩夜尿があり，これまでに夜間おむつがとれたことがない。日中の尿失禁はないという。尿所見：比重1.030，蛋白(−)，糖(−)，潜血(−)，沈渣は赤血球０～１/HPF，白血球１～４/HPF。腹部超音波検査で両側の腎と膀胱とに異常を認めない。
　父親への説明として**適切でない**のはどれか。
　a　「就寝前に完全に排尿させましょう」
　b　「睡眠中の冷えから身体を守りましょう」
　c　「水分は昼過ぎまでに多めに摂らせましょう」
　d　「おねしょをしても叱らないようにしましょう」
　e　「夜間の決めた時間に起こして排尿させましょう」

エコー・リレー

（544回）
（南から北へ北から南へ）

家電の進化

都城市　MKクリニック小児科　柳田（やなぎた）　かえで

先日，我が家の洗濯乾燥機が壊れ，急に買い換えることになりました。新しい機種は，洗剤，柔軟剤を毎回入れる必要がなく，詰め替え用のパックを１本ずつ入れておけば，洗濯機が自動で洗濯量に合わせて適量を注いでくれるようになっていました。たったこれだけですが，おかげで一日数回，洗剤と柔軟剤を注ぐ作業が減るだけでなく，詰め替え用パックからボトルに移し替える作業もなくなり，また一つ家事を短縮することができるようになりました。

仕事と家事と子育てを両立するにあたって，夫の協力はもちろんですが，家電の進化にもずいぶんと支えられてきました。我が家の食洗機は，容積が巨大で，鍋もまな板もリサイクルする食品トレーも全部入れることができ，何よりも下洗いが不要なので，本当に助かっています。故障して手洗いに戻ったときほど，実感するときはありません。また，以前の掃除ロボットは髪の毛が巻き付き，掃除ロボット本体の掃除をするのが大変でしたが，最近の掃除ロボットは改善されて手入れが楽になりました。留守中に掃除ロボットの後に床拭きロボットもタイマーで働いてくれるので，帰宅したときはピカピカになっています。家事が楽になり，仕事に集中できることをありがたく思っています。すべての家事をしてくれるロボットを夢見ながら，次の家電はどのように進化してくれるのかわくわくしながら期待しています。

〔次回は，三股町の畠中 道己先生にお願いします〕

ルーティン

宮崎市　近間クリニック　近間（ちかま）　浩史（こうじ）

ルーティンとは「決まった手順」「日課」を意味し，生活では「習慣化」行動を何度も積み重ねることで考える必要がなく自然と体が行動すること。メリットは継続性や効率化，達成感，健康意識が上がる。デメリットは時間に追われる，変化がなくなる，できない場合に罪悪感，自己嫌悪が生じる。などと記されています。

私の平日のルーティンは，朝から筋トレ（腹筋，腕立て伏せ，顔筋）をする，庭の掃除をする，出勤途中にセブンによってリポビタンゼロを飲む，診療開始までメールやニュース，お気に入りのサイトをチェックする。週一のルーティンは，当直の夕食にファミマのカツカレーを買っていく。週末にテニススクールに行く，車を動かす。月一のルーティンはゴルフに行く。年数回のルーティンは学会・講演会に参加する，仲間とサーフィンに行く。

専門医学会が今年はWebで開催され，休診や飛行機と宿の予約，移動などの面倒なことは省けましたが，やはり会場で直に講演や発表を聴けないこと，友人と会って飲み食いができないことに物足りなさをとても感じました。

コロナ禍で外出や旅行，学会などがなくなり，気がつけば生活のすべてがルーティン化されていました。ルーティンをこなしたいという拘りも強くなりますが，仕事柄「偏り過ぎずバランスを保つこと」を常々心掛けています。なくてもいいことが分かってきた今，煩わしいことに囚われず自分らしく生活したいと思います。

〔次回は，宮崎市の松浦 喜久子先生にお願いします〕

メディアの目

患者の姿勢

毎日新聞　宮崎支局長
梅山（うめやま）　崇（たかし）

４月に関西から宮崎に引っ越し，心からほっとしている。転勤がなければ，妻の子宮体がんが，すぐには分からなかったからだ。

１年前，不正出血が１か月続いた妻は近隣の婦人科を受診したが，医師は「原因は子宮筋腫。体がんは閉経後の病気で，あなたは心配しなくてよい」と断言。体がんの検査はなく，止血剤を処方してくれただけだった。信頼する人から紹介された医師だっただけに疑問を口にしにくかったし，あまりにきっぱり「体がんの心配は不要」と言うので，「そういうものか」と納得してしまったという。

一緒に宮崎に来た妻は，止血剤のストックがなくなり，言い知れぬ不安が募ったこともあり，自分で調べて新たな婦人科医にかかった。関西での経緯を伝えたところ，「子宮体がんの心配がないなんて言えませんよ」。インターネットで検索すると，確かに閉経後の発症が多いが，２割程度は閉経前で，最近は特にそれが増えているという。

妻は検査を受け，恐れていたがんが見つかった。子宮を全摘，卵巣，卵管も切除され，今は３週間に１回，抗がん剤治療を受けている。幸い転移はしていなかったが，髪は抜け，副作用に耐える日々だ。

関西の婦人科医を責めるのはたやすい。でも，妻は「私が逃げていたのかもしれない」と後悔を口にした。私も，夫として不明を恥じる。患者側が調べられることを調べておく重要性は，骨身にしみていたのに……。

３年前の寒い時期，私は小脳梗塞を発症した。会社のトイレでふらつき，大量に発汗。何が起きたか分からず，救急搬送された。しかし当初，症状が激烈でなかったこともあり，診断がつかなかった。何とか帰宅したものの，翌日に痛みは増し，タクシーを呼んで別の病院へ。５か所回っても分からない。６か所目でようやく脳梗塞だと判明した。

「たらい回しじゃないか」。当時は相当腹を立てたが，その１年半前までタール19㎎のたばこを１日50本，根元まで吸う超ヘビースモーカーで，体形もメタボそのもの。脳梗塞の可能性は当然，自覚しておくべきだった。

日ごろから自分を見つめ，理性的な判断をしても，人間，死ぬときは死ぬ。だが準備にベストを尽くしたと思えるか否かで，「納得感」には大きな差が出るだろう。そして何より，患者の姿勢が生死を分けることもある。医師と良い距離感で対峙できる賢い患者でありたい。そう実感する。

叙勲・祝賀

保健衛生功労により旭日双光章

相澤（あいざわ）　潔（きよし）　先生（西　都）

令和２年11月３日，保健衛生功労により旭日双光章をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

相澤 先生

表彰・祝賀

国民健康保険事業及び介護保険事業功労により国民健康保険中央会表彰

立元祐保（たつもとすけやす）先生（宮　崎）

令和２年８月７日，国民健康保険事業及び介護保険事業に関する功労により国民健康保険中央会表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

立元 先生

学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰

杉田幸雄（すぎたゆきお）先生（宮　崎）

木下義美（きのしたよしみ）先生（延　岡）

令和２年10月13日，学校保健功労により文部科学大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

杉田 先生

木下 先生

表彰・祝賀

国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰

峯（みね）　一彦（かずひこ）　先生（南那珂）

令和２年10月14日，国民健康保険に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

峯 先生

精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰

井上雅文（いのうえまさふみ）　先生（宮　崎）

令和２年10月16日，精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

井上 先生

表彰・祝賀

社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰

山口哲朗（やまぐち　てつろう）先生（延　岡）

令和２年10月19日，社会保険診療報酬支払基金に関する功績により厚生労働大臣表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

山口 先生

精神保健福祉事業功労により県知事表彰

有田一信（ありた　かずのぶ）先生（都　城）

令和２年10月31日，精神保健福祉事業功労により県知事表彰をお受けになりました。

衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

有田 先生

表彰・祝賀

医療功労により県知事表彰

立元祐保（たつもとすけやす）　先生（宮　崎）
山村善教（やまむらよしのり）　先生（宮　崎）
政所治道（まどころはるみち）　先生（都　城）
井手稔（いでみのる）　先生（延　岡）
島田雅弘（しまだまさひろ）　先生（南那珂）

令和２年11月12日，医療功労により県知事表彰をお受けになりました。
衷心より祝意を表しますと共に，今後ますますのご活躍を祈念いたします。

立元 先生

山村 先生

政所 先生

井手 先生

島田 先生

私が推薦する本

元彼の遺言状

宮崎市　宮崎市郡医師会病院　永井公洋（ながい きみひろ）

身内の，それも娘の書いた本を父親が推薦するなどという誠に厚顔無恥な振る舞いを，まず初めにご容赦ください。

このたび，娘がいただいた大賞は，宝島社の第19回「このミステリーがすごい」です。475作品の中から選んでいただいたのですが，最終選考では女性委員の瀧井朝世さんがくださった人物のキャラが立っているという評価が印象に残りました。このミステリーは，新川帆立のペンネームで来年１月の発刊（書名：元彼の遺言状）予定です。親バカぶりを承知のうえなのですが，ぜひお手に取っていただきたく皆様にお願い申し上げる次第です。

さて，娘は，小さいころから異常に正義感のようなもの（本人は正義と思っている）が強く，ある時，それは「へいとう」じゃないと突っかかってきました。「へいとう」？，何のこっちゃと思いながら，よくよく探ってみると「平等」をへいとうと読んでいたようです。笑ってしまいましたが，母親との言い合いはしばしば長時間にわたり，だいたい２～３時間は続いていました。戦いが終息した後，妻は疲労困憊，グッタリしていると，娘はどこ吹く風で，また妻のところにやって来て，言い放ったのです。「ママぁ，まだ怒っちょっとーー」。妻の血圧がまた一段上がったのでした。私が宮崎大学から，ご縁があって茨城県の県立中央病院に婦人科部長で異動した時にも，「私のため（高校進学のため）に行くと？」と言ってきました。

著　者　新川帆立
出版社　宝　島　社

今でも，後を振り返らない恐ろしいほどの前向き志向を続けています。

新聞などに載せていただいた彼女のエピソードから２つほど紹介したいと思います。シャーロックホームズやハリーポッターが好きだったとありますが，いずれも英国です。その英国に行きたくて，２通りの方法を彼女なりに考えたようです。１つは船医になって英国に行くというもので，そのための医師という選択でした。このような発想がどこから来るのか不思議でした。もう１つは娘が中学１年生の７月のことですが，外務省から私宛に厚みが５cmもあろうかという大きな郵便物が届きました。なんか悪

いことをして呼びつけられるのかビクビクしながら開けてみると，外務省広報部からの外務省案内でした。何と，娘は英国に行くのに外交官という職業を考えたようで，密かに外務省に直接電話して私宛に資料を送るよう請求していたのでした。「それ，私の一」と言いながらサッサと持っていきました。やはり，何をしでかすか分からない娘でした。

２つ目のエピソードは，司法試験合格後の１年間の司法修習生の時に，弁護士として何か特徴付けたいとプロの麻雀士になったことです。いつものように，親は何も知らず，これも事後報告です。ここで困ったことは，司法修習生は準国家公務員扱いで，兼業は禁止されていました。そのような身分でプロの麻雀士が許されるのかが問題でした。何しろ前例がないものですから裁判所の判断を仰ぐことになりました。関東の地方裁判所，その上の高裁でも判断できず，最高裁まで話しが上がってしまいました。最高裁では，お金を稼がなければ良いということで決着しました。事程左様に周りを思いっきり振り回すのは小さいころからで，娘が中学の時に私は，ブンブン娘とあだ名を付けていました。

娘とはよく話はするのですが，よく喋っている時は安心です。黙っている時や全く連絡してこない時は，何か良からぬことを考えている時で，親には警戒警報が発令されます。幸いにも，本を出させていただくことにはなりましたが，普通の顔に変人の要素が入った人間が書いたものです。面白がって読んでいただければ幸いです。

11月のベストセラー（宮崎県）

集計：2020年11月１日～11月26日

1	青田波	佐伯泰英	文藝春秋
2	ノーマンズランド	誉田哲也	光文社
3	「繊細さん」の本	武田友紀	飛鳥新社
4	私は私のままで生きることにした	キム・スヒョン	ワニブックス
5	「育ちがいい人」だけが知っていること	諏内えみ	ダイヤモンド社
6	気がつけば，終着駅	佐藤愛子	中央公論新社
7	かくしごと	住野よる	新潮社
8	おもかげ	浅田次郎	講談社
9	ペルソナ	中野信子	講談社
10	嫌われる勇気	岸見一郎	ダイヤモンド社

明林堂書店調べ　提供：本郷店（宮崎市大字本郷北方）☎(0985)56-0868

宮崎県感染症発生動向 ～10月～

令和２年９月28日～令和２年11月１日（第40週～第44週）

■全数報告の感染症

１類：報告なし。

２類：○結核16例（男性11例・女性５例）：保健所別報告数は【図１】，病型別報告数は【表１】，年齢別報告数は【表２】のとおりであった。

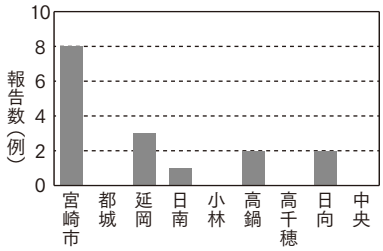


図１　結核　保健所別報告数

表１　結核　病型別報告数（例）

肺結核	8
その他の結核（結核性脊椎炎，粟粒結核）	1
無症状病原体保有者	7

表２　結核　年齢別報告数（例）

年齢	報告数
20歳代	1
30歳代	1
40歳代	1
50歳代	1
60歳代	6
80歳代	4
90歳代	2

３類：○腸管出血性大腸菌感染症３例：宮崎市（２例），高鍋（１例）保健所管内から報告があった。年齢は60歳代，70歳代及び80歳代が各１例であった。１例は無症状病原体保有者であった。２例の主な症状として腹痛，水様性下痢，血便がみられた。原因菌のO血清型はO26（VT1），O121（VT2），O124（VT1）であった。

４類：○Ａ型肝炎１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は70歳代で，主な症状として全身倦怠感，食欲不振，黄疸，肝機能異常がみられた。Ａ型肝炎のワクチン接種歴は不明で，海外渡航歴は無かった。

○重症熱性血小板減少症候群（SFTS）１例：延岡保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，ダニの刺し口は確認できなかった。主な症状として発熱，頭痛，筋肉痛，腹痛，下痢，嘔吐，食欲不振，全身倦怠感，血小板減少，白血球減少がみられた。

○日本紅斑熱３例：都城，日南，小林保健所管内から報告があった。60歳代，70歳代及び80歳代が各１例で，いずれもダニの刺し口が確認できた。主な症状として発熱，発疹，肝機能異常，倦怠感がみられた。

○レプトスピラ症１例：日向保健所管内から報告があった。年齢は60歳代で，主な症状として発熱，結膜充血，蛋白尿，腎不全がみられた。

５類：○ウイルス性肝炎３例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代，30歳代及び40歳代で，病型はいずれもＢ型であった。主な症状として，全身倦怠感，食欲不振，下肢痛がみられた。

○カルバペネム耐性腸内細菌感染症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は20歳代で，主な症状として敗血症がみられた。

○急性脳炎２例：都城保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と60歳代で，病原体は１例が不明で，もう１例は単純ヘルペスウイルスであった。主な症状として，発熱，頭痛，痙攣，意識障害がみられた。

○侵襲性肺炎球菌感染症１例：宮崎市保健所管内から報告があった。年齢は80歳代で，主な症状として菌血症がみられた。ワクチン接種歴は不明であった。

○水痘（入院例）２例：都城，延岡保健所管内から報告があった。年齢は40歳代と80歳代で，主な症状として発熱，発疹がみられ，１例は他疾患入院中の発症であった。ワクチン接種歴はいずれも不明であった。

○梅毒７例（男性６例，女性１例）：宮崎市（４例），都城（２例），小林（１例）保健所管内から報告があった。年齢は20歳代（３例），30歳代（２例），40歳代及び60歳代（各１例）であった。病型は早期顕症梅毒Ⅰ期が３例，早期顕症梅毒Ⅱ期及び無症状病原体保有者が各２例であった。主な症状として初期硬結，硬性下疳，鼠径部リンパ節腫脹，梅毒性バラ疹，丘疹性梅毒疹，眼症状がみられた。

■指定感染症

○新型コロナウイルス感染症２例：宮崎市，延岡保健所から報告があった。年齢は40歳代と60歳代で，１例は症状がなく，もう１例の主な症状は発熱，咳，全身倦怠感であった。

■病原体検出情報（微生物部）

	検出病原体	件
ウイルス	エコーウイルス９型	5
細　菌	EHEC（O26:H11 VT1）	1
	EHEC（OUT:H11 VT1）	1
	Salmonella Thompson（O7:k:1,5）	1
	Salmonella Agona（O4:f,g,s:-）	1
	Salmonella Alachua（O35:z4:z23:-）	1
	Salmonella Corvallis（O8:z4,z23:-）	1
	Salmonella Braenderup（O7:e,h:e,n,z15）	1

■５類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は1,429人（定点あたり42.6）で，前月の137％，例年の46％であった。

前月に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症，Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎，水痘，手足口病及びヘルパンギーナで，減少した主な疾患は特になかった。また，例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はＡ群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は367人（10.2）で前月の約1.6倍，例年の約1.2倍であった。日南（30.3），延岡（28.8），宮崎市（10.0）保健所からの報告が多く，１～５歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は159人（4.4）で前月の約1.7倍，例年の約0.9倍であった。中央（12.0），宮崎市（8.3），都城（4.5）保健所からの報告が多く，１～２歳が全体の約８割を占めた。

■月報告対象疾患の発生動向〈2020年10月〉

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は54人（4.2）で，前月比142％と増加した。また，昨年10月（2.7）の154％であった。

《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数32人（2.5）で，前月の約1.4倍，昨年10月の約1.1倍であった。20歳代が全体の約４割を占めた。（男性９人・女性23人）

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数８人（0.62）で，前月の1.3倍，昨年10月の約2.7倍であった。（男性３人・女性５人）

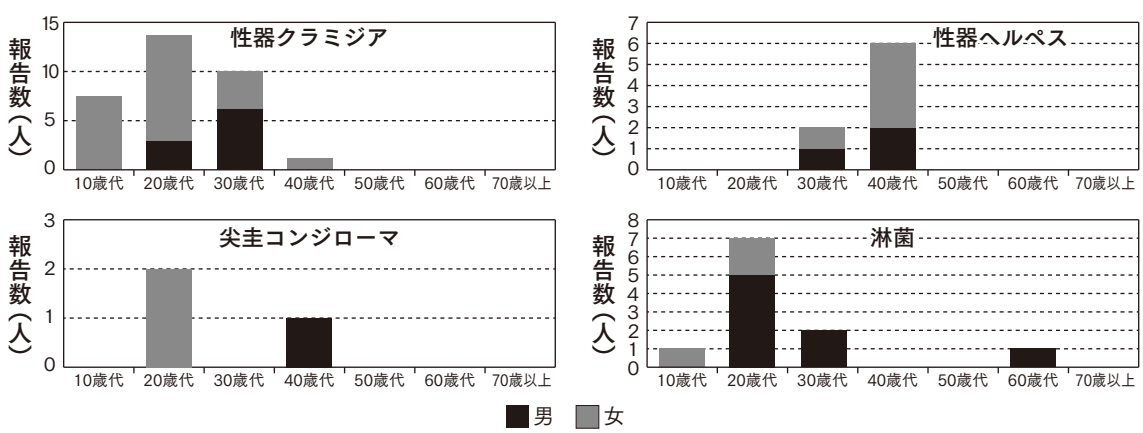
○尖圭コンジローマ：報告数３人（0.23）で，前月と同じであった（昨年10月は報告なし）。（男性１人，女性２人）

○淋菌感染症：報告数11人（0.85）で前月の1.8倍，昨年10月の3.7倍であった。（男性８人，女性３人）

前月との比較

	2020年10月		2020年９月		例年との比較
	報告数（人）	定点当たり(人)	報告数（人）	定点当たり(人)	
インフルエンザ	0	0.0	0	0.0	
RSウイルス感染症	20	0.6	1	0.0	
咽頭結膜熱	47	1.3	52	1.4	
※溶レン菌咽頭炎	367	10.2	232	6.4	★
感染性胃腸炎	516	14.3	520	14.4	
水痘	47	1.3	26	0.7	
手足口病	96	2.7	45	1.3	
伝染性紅斑	2	0.1	1	0.0	
突発性発しん	141	3.9	112	3.1	
ヘルパンギーナ	159	4.4	95	2.6	
流行性耳下腺炎	13	0.4	14	0.4	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	20	3.3	3	0.5	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	1	0.1	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	0	0.0	0	0.0	
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.0	0	0.0	

★例年同時期（過去３年の平均）より報告数が多い
※Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎



□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は11人（1.6）で，前月比48％と減少した。また，昨年10月（2.7）の58％であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数11人（1.6）で，前月の約0.5倍，昨年10月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

○薬剤耐性緑膿菌感染症 ：報告なし。

（宮崎県衛生環境研究所）

各郡市医師会だより

西臼杵郡医師会

会長　植松昌俊（うえまつ まさとし）

今回，調べられる範囲内で調べてみてわかったのですが，これまで西臼杵郡医師会会長は長期間にわたり勤めていただいた先生が多数います。第何代会長なのかは不明なのですが，３代前の会長の佐藤淳先生は昭和23年から昭和61年までの38年間，２代前の小生の父，植松正雄は昭和61年から平成18年までの20年間，そして先代の佐藤元二郎先生には平成18年から令和２年までの14年にわたり当地区の医師会長を務めていただきました。そして，今回，令和２年度より西臼杵郡医師会会長に就任させていただきました。また，副会長には前会長の佐藤元二郎先生にも務めていただき，さらに４名の先生に新たに当医師会の役員体制に参画していただきました。

当医師会を取り巻く環境には，コロナウイルス感染症への対応などの問題山積ですが，当医師会で話題になっていることの一つは，過疎化にともなう人口減少，高齢化，そして就労人口の減少です。

日本の最初の公害訴訟である土呂久公害訴訟は当地が，その現場となった所です。皮肉なことに，その原因となった土呂久鉱山があった当時が，最も当地の人口が多く栄えた時代であったようで，1965年当時の人口がこれまでの最高で西臼杵郡の３町（高千穂町，日之影町，五ヶ瀬町）の人口は約５万人。私は大学病院を辞して，2000年に当院に帰ってきたのですが，その時の人口が約２万５千人。その後も人口は順調に減っており，現在では２万人を割っています。西臼杵郡医師会の会員数も30名以上いた会員が現在は22名まで減少しており，そうなると当然話題となってくるのが，現在，西臼杵郡の３町にある３つの国民健康保険病院をどうするかの問題です。限りある資源を活用しつつ，国が示している地域医療構想をふまえ，地域の住民に安心，安全な医療を提供する西臼杵郡の医療構想が求められており，難しい舵取りになりそうです。ご協力をお願いいたします。

西臼杵郡医師会新役員

役員等名簿（任期　令和２年６月１日定例総会終結後～令和４年５月31日定例総会終結時まで）

役職名	氏　名	診　療　科	所属医療機関	担　当　業　務
会　長	植松　昌俊	精神科	国見ヶ丘病院	会務全般，健康教育，倫理向上，医療安全
副会長	佐藤元二郎	内科，胃腸科，小児科	佐藤医院	生涯教育，医療保険，介護保険
理　事	古賀　志朗	内科，胃腸科，小児科	古賀医院	情報システム，予防接種
〃	久米　修一	外科	高千穂町国保病院	地域医療，諸規定検討
〃	塩月　康弘	整形外科	高千穂町国保病院	
〃	崔　　林承	消化器外科	五ヶ瀬町国保病院	公衆衛生・感染症，勤務医部会
〃	押方　慎弥	内科	高千穂町国保病院	会員福祉
〃	佐藤　祐二	内科	高千穂町国保病院	
監　事	興梠　知子	小児科	高千穂町国保病院	医師確保対策，医療関係者対策

各郡市医師会だより

宮崎大学医学部医師会

会長　鮫島（さめしま）　浩（ひろし）

平成30年の医師会だよりに掲載してから２年が経過しました。この間に年号も令和に改まりました。令和２年（2020年）は，年初から新型コロナ感染症が猛威をふるい，そのために東京オリンピック・パラリンピックが延期され，９月には菅総理大臣が就任し，11月には米国大統領選挙もありました。最近ではstay-home，on-line会議が日常になってまいりました。このように国内外で大きな変動の中にあります。

医学部医師会でも大きな変動の時期を迎えています。

一つは，若手医師数の増員に向けた動きです。医学部学生の地域枠の増員，研修医のキャリア形成プログラムの実施などなど，宮崎県における医師数の確保，増員に向けた取組みが着実に動きつつあります。その一方で，専門医制度における診療科シーリング，医師の働き方改革など，若手医師を増やすために解決すべき問題も山積しています。

もう一つの重要な変化は教員の動向です。臨床系の教授を見ると，内科（３人），外科（１人），産婦人科，放射線科で新たな教授候補者選出へ動き出しています。基礎系でも生理学分野，生化学分野で教授選が動き出しています。医学部の教授選は日常の出来事ではあるものの，これだけの数の教授が短期間で動くことは珍しく思います。教授によって医局は大なり小なり変革が起こりますし，それにともなって，同窓会，同門会，関連医会なども変化すると思われます。医学部医師会に新たな風が吹き込まれ，引き続き県医師会にも吹き込まれるものと期待されています。

医学，医療は日進月歩であり，それに応じて，また社会からの要請に応じて，医学部・大学病院も変化し続ける必要があります。一方で，不易なものも重要です。診療，教育，研究を通して社会に貢献するという理念を基盤に，今後も医学部医師会は頑張っていく所存です。宮崎県医師会の会員の皆様，これからもよろしくお願い申し上げます。

宮崎大学医学部医師会新役員

役員等名簿（任期　令和２年６月30日～２年後の６月教授会の日まで）

役職名	氏名	担当業務
会長	鮫島　浩	大学理事，病院長
副会長	中里雅光	内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野教授
理事	帖佐悦男	県医師会理事，感覚運動医学講座整形外科学分野教授
〃	荒木早苗	県医師会常任理事，コミュニティ・メディカルセンター
〃	東野哲也	感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授
〃	鈴木斎王	附属病院患者支援センター長准教授
監事	竹島秀雄	臨床神経科学講座脳神経外科学分野教授
〃	落合秀信	病態解析医学講座救急・災害医学分野教授

宮崎大学医学部だより

臨床神経科学講座
－脳神経外科学分野－

竹島 秀雄（たけしま ひでお）　教授

脳神経外科学講座の最近の教室動向

当講座は2006年10月から第３代教授の竹島秀雄先生が就任され14年が経過しました。初代木下和夫教授，第２代脇坂信一郎教授のもとで培われた，地域医療と研究，教育の３本柱をふまえ，脳腫瘍分野での臨床および研究面の充実ぶりは健在です。教室員は2017年に３名，2019年に３名，2020年に１名の新規入局者を迎えるも，退局者もこの４年間に５名あり，少ない人数で教室運営を行いつつ地域医療を支えています。県内各地域の脳外科医師派遣要請に応じられず，関連施設からの撤退を余儀なくされ，本年７月には西都児湯医療センターへの常勤医派遣が困難となり，非常勤医師派遣で対応中です。

臨床活動

大学病院では脳腫瘍の集学的治療を中心に，脳血管障害，小児疾患，脊髄疾患，多発外傷に対応しています。特に脳腫瘍分野では，ナビゲーションシステムと各種モニタリングを駆使し安全かつ十分な腫瘍摘出を行っています。言語野近傍手術では覚醒下手術を，またトルコ鞍近傍腫瘍や小児水頭症に対しては神経内視鏡手術など最先端医療技術も導入しています。脳腫瘍術後治療では，2016年に脳腫瘍WHO分類の改訂で必須化された遺伝子診断を基に，各個人へのオーダーメイド医療を提供しております。

脳血管障害領域では，直達手術と脳血管内手術をバランスよく取り入れ，特に大型脳動脈瘤に対するハイフローバイパス併用直達手術や，フローダイバーターステント留置術など高難易度治療を行っています。

2018年12月に脳卒中・循環器病の急性期治療体制の整備，予防対策，啓発活動などを行うことで，発症や死亡を減らし医療費や介護費を節約することを目的とした法律「脳卒中・循環器病対策基本法」が成立し，当教室が都道府県脳卒中対策推進委員会の役割を担うことになり，今後は県，医師会と協力しさまざまな事業に対応予定です。またそれにともない本年，24時間365日体制で脳卒中患者に対応する「脳卒中一次センター：PSC」の認定が行われ，当施設を含めて宮崎県内10施設が認定され脳卒中診療にも力を入れております。

教　育

2017年度から医学部生の臨床実習期間が72週に期間延長されるも，宮崎大学のカリキュラム変更にともない，2019年秋から脳神経外科臨床実習は２週間から１週間（平日５日間）に減りました。効率的かつ密度の濃い臨床実習を模索中です。解剖学教室澤口教授のご協力のもと，２年生の解剖実習で手術用顕微鏡や手術器具を用いた神経解剖指導も継続予定です。

教室員への教育では，脳神経外科学会専門医取得を第一の目標に掲げ，2019年度も１名の専門医が誕生しました。専門医取得後も，subspecialtyとしての各学会専門医や技術認定医の取得サポートを行っております。また国内留学や海外留学も奨励しており，現在１名が神経再生の研究のため国内留学中です。

研究活動

当教室研究室では，新脳腫瘍分類に適合するための遺伝子検査をルーチンで行い，臨床応用し，全国や国際学会でその成果を発表しております。またsurgical sampleより髄芽腫の細胞株を樹立することに成功し，現在下垂体腺腫や髄膜腫など良性腫瘍の培養も行い，細胞株の性質に関する解析を進め，これを用いた新規性の高い研究に関する検討を行っております。

（医局長　大田　　元）

部会だより

産業医部会

河野（かわの）　雅行（まさゆき）部会長

宮崎県医師会産業医部会は，産業医活動を促進し，産業医学の研究と職場における労働者の安全・健康増進を図ることを目的に昭和51年４月に設立され，令和２年で44年目を迎えました。会員数は405名（10月末現在）。役員は河野部会長（県医師会長）をはじめ，各郡市医師会などから選出された理事を中心に構成しています。主な活動としては，産業医研修会の他，年１回開催する理事会や総会，また，県産業保健連絡協議会・県産業医研修連絡協議会を年２回開催し，医師会，労働局，産業保健総合支援センター，各事業者団体とで，産業保健活動についての意見交換を行っています。

いわゆる「働き方改革関連法」が2019年４月から順次施行されました。「働き方改革」の趣旨は言うまでもなく労働環境の改善にありますが，この「労働環境」とは，労働安全衛生環境も含まれる概念です。したがって，「働き方改革」には，企業の労働管理関連部署自身の取組みと，労働者の健康管理などを行うのに必要な医学的知見を持った「産業医」と事業者との連携強化が欠かせないことになります。こうした制度改正の背景には社会的注目を集めた過労死自殺などがあり，このような事案を二度と繰り返さないためにメンタルヘルスケア対策の強化も求められています。

政府の方針により，産業医の仕事はますます拡大し，期待される役割が増大，業務が多様化高度化してきます。そのような中，独立性・中立性の強化，医学に関する知識に基づいて誠実にその職務を行うことを求められていくことになります。我々産業医は多様な課題を想定し，能力の維持向上のため努力しなければなりません。

このようなことから本部会では，産業医の養成および資質向上に力を入れているところであります。研修会の内容は日医認定産業医制度関係小委員会で検討し，令和元年度は，各郡市医師会や産業保健総合支援センターにご協力をいただきながら，未認定医対象の基礎研修会を16回（29.5単位），認定医対象の生涯研修会を51回（101.5単位）実施しました。このうち３回は，テレビ会議システムを利用することで，先生方のご都合の良い会場で受講いただけたことと存じます。令和２年度につきましては，新型コロナウイルス感染症の影響により予定しておりました研修会が中止や延期となるなど，会員の先生方にはご迷惑をおかけしました。令和３年度も各郡市医師会や産業保健総合支援センターのご協力をいただきながら，できるだけ多くの受講機会を提供していきたいと考えておりますので，ぜひご出席ください。

当部会に入会をご希望の先生へは，入会申込書をお送りしますので，宮崎県医師会事務局までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

（常任理事　瀬ノ口洋史）

ー各種委員会ー

介護保険委員会

と　き　令和２年10月26日(月)
ところ　県医師会館，Web（Zoom）

石川常任理事の司会により開会，本会全理事協議会において委員長は牛谷義秀先生，副委員長は瀬ノ口洋史先生が選任されたことが報告された。続いて河野会長の挨拶の後，委員の自己紹介が行われた。

次に，河野会長から牛谷委員長へ「コロナ流行期における介護保険事業への医師の果たすべき役割について」について諮問され，牛谷委員長の進行で議事に入った。

１　認知症地域医療支援事業について

石川常任理事より，県からの委託を受け実施する認知症地域医療支援に係る下記４事業について説明があった。

１）認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修事業
２）かかりつけ医認知症対応力向上研修事業
３）医療従事者向け認知症対応力向上研修事業
４）みやざきオレンジドクター普及事業

２　令和２年度主治医研修会について

まず，石川常任理事から，研修の目的や留意点について説明があった。その後，今年度の研修内容について検討が行われた。

研修会の日程は，令和３年２月15日(月)に県医師会館およびWebにて開催する。内容については，下記３つの事例検討を実施することとなった。詳細は，委員長および担当理事に一任された。

１）認知症
２）心不全・大腿骨頚部骨折・認知症を中心に多種の疾患を抱えている方の意見書
３）在宅医療・緩和ケア・末期がん

３　諮問事項について

コロナ禍で医師および医師会が介護保険事業で果たすべき役割について議論が交わされた。介護施設などにおいては管理者が必ずしも感染対策についての知見を持つとは限らず，過剰に恐れすぎた結果，閉鎖や閉じこもりが起こり，フレイルの進行などが見られるため，感染対策の知識を施設に伝え，地域の感染防御力を高めることが重要との意見から，以下のとおりまとめられた。

１）コロナ感染に備えた施設への出前講座
２）クラスター発生時に感染症専門の認定看護師などを派遣
３）介護破壊は医療破壊につながる
４）地域の感染防御力を高めるために「(仮称）地域感染対策支援チーム」などの立ち上げが必要

本事項については引き続き議論を行っていく。

参加者

県医会館－牛谷委員長，松岡・谷畠・荒川・
福嶋・早稲田委員

Web（Zoom）－瀬ノ口副委員長，
榎本・上山・中島委員

（県医）河野会長，山村副会長，
荒木・石川常任理事，川野・玉置理事，
久永課長，横山主事

女性医師の皆様へ

～宮崎県医師会では，妊娠中の医師にマタニティ白衣を貸し出しています～

心地よく快適に過ごせるマタニティ白衣を
２枚セット（無料）で貸し出します。
どうぞお気軽にご利用ください。
詳しくは，宮崎県医師会ホームページ
（http://www.miyazaki.med.or.jp/）
をご覧ください。

お問い合わせ先

宮崎県医師会　担当　山本
TEL 0985-22-5118
FAX 0985-27-6550

九州医師会連合会第388回常任委員会

と　き　令和２年11月10日㈫
ところ　九州各県医師会（TV会議）

１　開　会

２　挨　拶

１）九州医師会連合会長
（河野雅行宮崎県医師会長）

３　報　告

１）九州医師会連合会事業現況について
（宮崎）

今年７月１日㈬から10月31日㈯の間に開催した諸会議および関連行事は，新型コロナウイルス感染症の影響により，書面開催，テレビ会議など例年とは異なる事業実施状況となっていることを含め，常任委員会の４回，定例委員総会（書面開催），第１回各種協議会の概要を報告し，了承された。

２）九州医師会連合会歳入歳出現計について
（宮崎）

令和２年10月31日㈯現在の歳入合計は，各県医師会負担金および佐賀県からの繰越金を合わせて59,940,200円。同じく10月31日㈯現在の歳出額は，事務費，会議費，事業費を合わせ3,900,280円との収支状況を報告し，了承された。

３）第120回九州医師会医学会および関連行事について（宮崎）

臨時委員総会は書面開催，11月28日㈯の午前10時からは，テレビ会議にて日医中川会長による「中央情勢報告」，13時からは，YouTubeでの聴講を可能にしたうえで総会，医学会を開催することを報告し了承された。

４）日本医師会設立73周年記念式典並びに医学大会における各種表彰者に対する慶祝について（宮崎）

日本医師会最高優功賞に日本医師会長退任者として，福岡県の横倉義武先生ほか５名の先生方，日本医師会医学研究奨励賞として熊本大学の岩槻政晃先生ほか３名の先生方へ祝電をお送りしたことを報告した。

５）秋の叙勲等受章者に対する慶祝について
（宮崎）

今年度は，該当者がなかった旨報告した。

６）日本医師会議事運営委員会（10月21日㈬）について（沖縄）

沖縄県の安里会長から，日本医師会議事運営委員会決定事項が一部改正され次回の代議員会から九州ブロックからの代表質問が２名から３名に増加することが報告された。

７）その他

①　日本医師会執行部との連携強化について
（宮崎）

日医理事である河野会長から10月20日㈫の日医理事打合せ会において要望し，

日医からは連携強化の必要性は十分認識しているとしたうえで，現在のコロナ禍の状況もあるのでブロックごとの日医執行部とのテレビ会議について検討するとの回答があった旨報告し了承された。

４　協　議

１）九州医師会連合会令和２年度第２回各種協議会（令和３年２月13日㈯宮崎市）の開催種目および参加人数などについて

（宮崎）

開催種目は，地域医療，医療保険，介護保険対策協議会で，いずれも新型コロナウイルス対策を議題に含むことが決定された。

また，３密対策として参加人数は，各県種目ごとに役員２名以内，事務局１名以内とすること。各種協議会報告会は，一つの会場に集まらず各協議会場をオンラインで結び各会場で行うこと。懇親会は開催しないこととするが，コロナの拡大状況によっては，テレビ会議に変更することも含めて開催県一任とすることが承認された。

２）九州ブロックから推薦する日本医師会理事枠について（宮崎）

現在空席となっている九州ブロック日医理事枠に理事候補者を推薦することは決定されたが，どの県から選出するかは，今後協議することとなった。

出席者－河野会長，濱田副会長，山村副会長，山内事務局長，竹崎次長

お知らせ

年末・年始の休館について

県医師会館（医師会，医師国保，医師協同組合，病院企業年金基金）は年末・年始休業のため，下記のとおり休館いたしますのでお知らせします。

期　間　令和２年12月29日㈫～令和３年１月３日㈰

緊急連絡先　総務課長　090-9572-1385

事務局長　090-1514-3220

日医インターネットニュースから

■「受診歴・情報提供なしの新患は不可」
― オンライン診療で日医 ―

中川俊男会長は10月28日の会見で，受診歴がなく，かかりつけ医からの情報提供もない新規患者へのオンライン診療については，「不可」とする見解を発表した。ただ，明確な判断基準の策定・合意の下で可とするケースもあるとし，リスクが排除されている場合の禁煙外来や，地理的要因があり対面診療が困難な場合の緊急避妊への診療などを挙げた。患者の情報がある場合などについて，中川会長は「不可ではないという範囲に入る。個別に判断するべきだ」とし，さらなる議論が必要とした。

へき地・離島などで医療機関へのアクセスが制限されている場合や在宅医療では，定期的な医学管理をしている患者に対し，かかりつけ医の判断で，オンライン診療を適切に組み合わせるとした。受診歴がある患者も，対面診療と同等以上の安全性・信頼性が確認される場合，医師の判断で一時的にオンライン診療で補完できるとした。新型コロナウイルス禍での時限的・特例的対応については，対面診療との安全性・信頼性を比較検証する必要があるとあらためて主張した。

自由診療でのオンライン診療は「オンライン診療の適切な実施に関する指針」か，新たに別の規定を設けて，厳格に運用することが必要だと強調。診療報酬では施設基準や算定要件があるが，自由診療ではそれに相当する規制がないと指摘した。併せて，自由診療では，緊急性・必要性を考えても初診をオンラインで行う必要性は極めて低いとした。オンライン服薬指導については「別途，個別に判断する」とした。

●医療訴訟，プライバシー保護に配慮を

かかりつけ医によるオンライン診療では，▽医療訴訟の不安▽医師のプライバシー流出の不安▽システム利活用への不安－の３つの課題を挙げ，支援が必要とした。

対面診療に比べて情報が少ないため，適切な診断に至らず，医療訴訟につながる不安があるとし，「一定の考え方を示す必要がある」とした。医師のプライバシー保護については，すでに女性医師が被害に遭っているとの指摘があるとした上で，患者も協力する必要があるとした。医師については，日医が倫理指針をあらためて策定するとした。

オンラインでの健康相談は，現状，民間業者主体でサービスが提供されているため，国としての定義の明確化やガイドライン（GL）の策定，業界GLの策定が必要と提案。国のGLの策定には医師会や学会などの医療関係者や患者の参画を求め，業界GLも医療関係者，患者らによる第三者評価を行うとした。かかりつけ医による健康相談は，診察とは別に実施できることを明確化し，混合診療に当たらないことを確認するとした。（令和２年10月30日）

■２割負担，複数が所得上位44％案を支持
― 政府検討会議 ―

政府の全世代型社会保障検討会議は11月24日，医療制度改革をテーマに日本医師会の中川俊男会長，日本病院会の相澤孝夫会長，健保連の佐野雅宏副会長からヒアリングした。複数の民間議員から，後期高齢者の窓口２割負担導入について，厚生労働省が示した所得の上位44％を対象とする選択肢を支持する意見が出た。終了後，内閣官房が説明した。

後期高齢者の窓口負担の在り方について，中川会長は，新型コロナウイルス感染症による受診控えで高齢者の健康への影響が懸念される中，「さらなる受診控えを生じさせかねない政策を取り，高齢者に追い打ちをかけるべきではない」と主張。応能負担は，本来は保険料と税で求めるべきだとし「患者一部負担での応能負担は『限定的に』すべきだ」と訴えた。一方，健保連の佐野副会長は，現役世代の負担軽減につな

がるよう，低所得者を除いた上で「原則２割負担とし，少なくとも高額療養費の一般区分の人（全体の52％）を全て２割負担とする必要がある」と指摘した。田村憲久厚生労働相からは，今月19日の社会保障審議会・医療保険部会で提示した後期高齢者の窓口２割負担を求める際の「所得基準として考えられる機械的な選択肢」に関する説明があった。

会合では，民間議員の１人が，若年層の収入や貯蓄も考慮する必要性を指摘。若年層の負担感が大きいとして「２割負担を広く適用すべきだ」と主張した。具体的には，厚労省が示した選択肢のうち後期高齢者の所得上位44％に当たる約605万人を対象とする案を支持した。ほかの複数の民間議員からも，所得の上位44％を対象とする案を支持する趣旨の発言があったほか，「原則２割負担とすべきだ」との意見も出た。他方で，別の民間議員からは「医療費の負担増は生活に直結する問題なので，一定以上所得の範囲については慎重な検討が必要」との声も上がった。大病院の紹介状なし受診時定額負担の拡大に関しては，四病院団体協議会を代表し日病の相澤会長が発言。200床以上の病院といっても地域や病院ごとに役割は異なっており，ひとくくりに議論できないとして，慎重な議論を求めた。その上で，大病院を受診した患者を地域のかかりつけ医などへ戻す「逆紹介を強化していくべきではないか」と提案した。

菅義偉首相は，少子高齢化が進む中で「少しでも多くの方に支える側として活躍いただき，能力に応じた負担を頂くことが必要」との認識を提示。関係閣僚に年末の最終報告に向け，与党との調整も図りつつ，具体的な検討を進めるよう指示した。　（令和２年11月27日）

■会員向けの休業補償制度を創設

―日　医―

日本医師会は新型コロナウイルス感染症に対応した休業補償制度を創設する。日医会員が開設，管理する医療機関の医療従事者が感染し，一時的に閉院した際の休業損害を補償する。11月25日の会見で制度を説明した今村聡副会長は「医療経営が大変厳しい状況の中で廃業があってはならない。使命感で働いている医療従事者が少しでも安心，安全に勤務に専念できるように制度が一助となるよう切に願っている」と述べた。

対象は診療所，病院，健診センター，登録衛生検査所で個人，法人ともに対象となる。補償金は100万円（保険期間中に１回のみ）で，掛け金は１施設当たり４万8000円。掛け金は国の「医療機関・薬局等における感染拡大防止等支援事業」の補助対象のため，実質無料で加入できる。支払い要件は▽勤務する医療従事者が感染，または濃厚接触する▽感染に伴い医療機関で外部業者による消毒が行われる▽感染と消毒の実施に伴い，休診日を含む連続７日（７営業日ではない）以上閉院，または外来を全面閉鎖する－の３要件で，全てに該当した場合，補償対象となる。

申し込みは日医が開設する申し込み専用のウェブページから行う。12月１日にも受け付けを開始する予定で，12月下旬までに手続きを済ませれば来年元日から１年間を保険期間とする。

（令和２年11月27日）

日医インターネットニュースは，日本医師会のホームページからご覧になれます（毎週火・金更新）。
日本医師会（http://www.med.or.jp/）＞メンバーズ＞日医インターネットニュース

メンバーズルームへのアクセス方法

◆ユーザ ID：会員 ID（日医刊行物送付番号）の10桁の数字（半角）
◆パスワード：生年月日の「西暦の２桁，月２桁，日２桁」の６桁の数字（半角）

医師国保組合だより

～保健事業のご案内～

医師国保組合では，下記の保健事業を実施しております。新型コロナウイルス感染症の予防に十分ご注意のうえ，ぜひご利用ください。

※実施期間および接種期間：令和３年３月末日まで

１　健康診断（特定健診）・特定保健指導

健康診断（特定健診）

◆対象者

組合員・高齢組合員およびその配偶者　※配偶者は75歳の誕生日前日まで

上記以外の被保険者は，年度中に40歳～74歳になる方（年度中に75歳になる75歳未満の方も含む）

※年度中に40歳になる方～74歳の方（75歳になる方は誕生日の前日まで）は，特定健診対象者です。

◆日曜日の集団健診日程

＜宮崎市郡医師会病院　健診センター＞

令和３年	１月17日・２月７日・２月21日・３月７日・３月14日

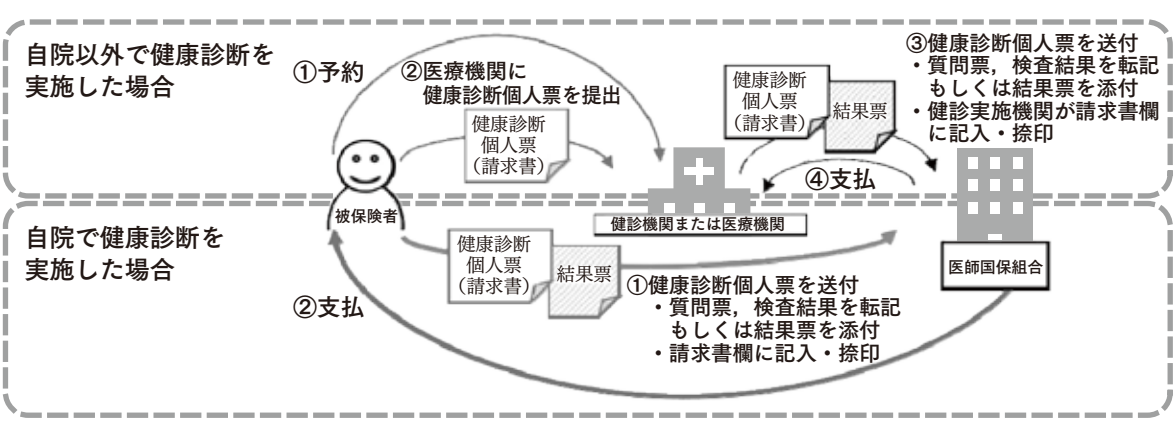
ご予約は当組合（TEL 0985-22-6588）へご連絡ください。

※平日・土曜日のご予約・お問い合わせは健診センター（TEL 0985-77-9108）へお願いします。

◆自家健診について

健康診断（特定健診を含む）を自院で実施しても当組合に請求することができます。

自家健診についてご不明な点がございましたら，当組合までお問い合わせください。



特定保健指導

◆対象者

対象者には，当組合より利用券を送付します。

特定保健指導のご案内が届いた方は必ず受けてください。

※自己負担はありません

２　その他保健事業

請求方法などの詳細は，組合員宛に送付しております「保健事業の案内」，または，当組合ウェブサイトをご覧ください。

１）胃・大腸内視鏡検査の補助
２）脳ドックなどの補助
３）肺炎球菌ワクチン接種補助
４）インフルエンザワクチン接種補助
５）低線量ヘリカルCT肺がん検診
６）乳がん検診（マンモグラフィ検査）の補助
７）歯科健康診査

申請書は，
当組合ウェブサイトからもダウンロードできます。
http://www.miyazaki.med.or.jp/kokuho/

医師国保からのお知らせ

＜健康保険適用除外申請の手続きについて＞

医師国保にすでにご加入の方は，事業所が法人化するなどで健康保険の適用となる場合でも，健康保険適用除外の承認を受けることにより，引き続き医師国保に残ることができます。

健康保険の適用除外承認申請が必要になったときは，事実の発生した日から必ず14日以内に年金事務所に届け出なければなりませんので，まずは当組合までお問い合わせください。

＜被保険者の資格喪失届について＞

世帯内のご家族が協会けんぽなどの他の医療保険に加入される場合には，資格喪失届が必要です。

組合員は事由発生から14日以内に被保険者証を添えて届け出てください。

（問合せ先）宮崎県医師国民健康保険組合
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地
TEL：0985-22-6588　FAX：0985-27-6550

追悼のことば

延岡市医師会
平田（ひらた）　實（みのる）先生
（昭和４年８月12日生　91歳）

弔　辞

本日，亡き平田實先生のご葬儀が執り行われるにあたり，延岡市医師会を代表いたしまして，謹んで哀悼の意を表し，お別れの言葉を申し上げます。

23日の早朝，平田先生のあまりにも急な，お亡くなりになったとの知らせに只々驚くとともに，私ども医師会の重鎮ともいうべき先生を失った悲しみと，寂しさで申し上げる言葉もございません。

ましてや，ご子息の耕太郎先生はじめ，ご遺族の方々，先生を慕われる多くの皆様方のお悲しみは如何ばかりかとお察し申し，衷心よりお悔やみ申し上げます。

先生は，昭和４年８月12日，愛知県名古屋市でお生まれになりました。

昭和28年，久留米医科大学をご卒業され，九州大学医学部産婦人科教室に入局されました。その後，山口日赤病院でのご勤務や，九州大学医学部薬理学教室大学院などで研鑽を積まれました。昭和34年，地域医療を実践すべく，お父様が開業された平田病院を引き継がれました。

先生は，温厚かつ誠実なお人柄でした。更に，地域医療についても深い関心と信念をお持ちでした。地域住民の健康管理，保健衛生の指導に尽力され，地域の皆様から絶大なる信頼と尊敬を受けておられました。

先生は医師会活動にも目を向けられ，昭和53年から平成２年までの12年間，延岡市医師会理事に就任され，その後の８年間は，延岡市医師会会長として，その重責を担われました。

先生が会長職にあった平成７年当時には，介護老人保健施設は延岡地域内では１施設しかありませんでした。そこで，医師会員に介護老人保健施設の建設を働きかけ，関係機関との調整のもと，４つの施設が新規開設されました。このことは，現在の延岡市の介護政策の礎となっており，延岡地域の医療・介護の向上に大きく貢献されました。

また一方では，延岡市立名水小学校，土々呂小学校，更には宮崎県立延岡ろう学校，延岡南養護学校などの学校医も歴任され，児童生徒の保健衛生並びに健康管理の指導教育に精力的に活動されました。

これらの功績に対しまして，昭和56年に学校保健，学校安全に関する功労としての，延岡市教育長表彰，平成11年には医療功労者としての宮崎県知事表彰，更に平成14年には地域医療への貢献に対しての「勲五等瑞宝章」の受章など，数々の輝かしい賞を受賞されておられます。

このような延岡市医師会歴史の創設者の一員としておられました先生がご逝去なさいましたことは，会員にとりましてかけがえのない財産を失うことであり，痛恨の極みであります。先生にはまだまだ長生きをしていただきたかったのですが，後継者の耕太郎先生が立派にご活躍され，先生と同じように地域医療のために貢献されておられますので，安心して旅立たれたことと存じます。

本日，先生とお別れするにあたり，先生がこれまで地域医療に対し尽くしてこられたご功績を忘れることなく，先生のお示しいただきました医療，介護，福祉，更には医師会運営に取り組む真摯なお姿を心に刻みながら，会員一同地域医療の発展向上に，一層の努力をしてまいる所存でございます。

平田實先生，どうぞ安らかにお眠りください。

令和２年10月25日
延岡市医師会
会長　佐藤　信博

医療機関の経営者・管理者の皆様へ

医療勤務環境改善支援センターをご利用ください

県下の社会保険労務士と医業経営コンサルタントが県内の医療機関からの医療勤務環境の相談内容に応じて専門的な助言・支援を行います。

医療労務管理相談

- ●スタッフが長く、安心して働ける職場にしたい！
- ●育児・介護中の休み方、働き方は？
- ●医師の負担を軽減させたい…

医業経営面

- ●スタッフのキャリアを磨きたい！
- ●補助制度を上手に活用したい。
- ●効率良く、経営を安定させたい。

相談無料

まずは、お電話ください。

宮崎県医療勤務環境改善支援センター
公益社団法人宮崎県医師会内
月曜～金曜　午前10時から午後4時まで
TEL.0985-20-1211
FAX.0985-27-6550　E-mail　iryou-kinmukaizen@miyazaki.med.or.jp

令和２年10月６日㈫ 第12回常任理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①県医療介護推進協議会委員の推薦について

→本県の医療・介護行政を推進していくうえで重要な事項を協議するために設置される協議会で，引き続き河野会長と濱田副会長を推薦することが承認された。

②県情報化推進有識者会議の委員推薦について

→本県における情報化計画の策定と，情報通信基盤および先端技術などの推進を目的に新たに設置される有識者会議で，情報システム担当の荒木常任理事を推薦することが承認された。

２．宮崎県国民健康保険診療報酬審査委員会委員（保険医代表）の推薦について

任期満了（令和２年12月末日）にともなう推薦依頼で，本会の社保・国保審査委員会委員の選任基準（内規）に従い，今後，県医師会および郡市医師会並びに各専門分科医会に人選を依頼していくことが承認された。

３．日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「公衆衛生委員会」に吉田常任理事，「予防接種・感染症危機管理対策委員会」に峰松理事を委員として委嘱したいとの依頼があり，本会として了承することが承認された。

４．令和２年度宮崎県中学校駅伝競走大会開催に伴う医師及び看護師の派遣について

当初，11/15㈰西都市で開催する予定であったが，開催日を11/16㈪，場所を宮崎市のひなた宮崎県総合運動公園内周回コースに変更するとの連絡があり，医師および看護師の人選を開催地の宮崎市郡医師会にお願いすることが承認された。

５．令和３年度地域医療介護総合確保基金（医療分）事業提案及び意向調査結果について

各郡市医師会などを通じて照会した結果，事業区分Ⅱ（居宅などにおける医療提供に関する事業）１件の申請があり，県に提出することが承認された。また，病床の機能分化・連携促進基盤整備事業（施設整備・設備整備）に係る調査については，３医療機関から申し込みがあり，県に回答することとなった。

（報告事項）

１．週間報告について

２．９月末日現在の会員数について

３．10/１㈭（宮崎産業保健総合支援センター）宮崎産業保健総合支援センター辞令交付式について

４．10/６㈫（県医）県アイバンク協会寄付金贈呈式について

５．10/６㈫（県医）治験審査委員会について

６．10/１㈭（県医）園医部会総会・研修会について

医師連盟関係

（議決事項）

１．10/11㈰（MRT-micc）「山口那津男党代表との懇談会」のご案内について

公明党の山口代表の来県にあわせ，経済団体10団体の代表者などを中心に案内される懇談会で，河野委員長が出席することが承認された。

２．10/13㈫（宮観ホテル）江藤拓 前農林水産大臣の国政報告並びに慰労懇談会の開催について

国政報告会と慰労懇談会の２部構成で開催される会で，公務の関係から河野委員長が国政報告会のみ出席することが承認された。

３．10/24㈯（宮観ホテル）総務・支部長合同会議の開催について

自民党総裁選挙の総括や組織の活性化（壮年局の創設）などを協議する合同会議で，対象となる河野委員長が所用のため欠席することが承認された。

４．寄附のお願いについて

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により政経セミナーなどを開催できないことにともなう寄附の依頼で，自民党の政治資金団体である「国民政治協会」の寄附に協力することが承認された。

令和２年10月13日㈫ 第13回常任理事協議会

冒頭，自見はなこ先生の「厚生労働大臣政務官退任および日本医師連盟組織内候補者推薦決定のご報告とお礼」ビデオメッセージ放映（４分程度）

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①県個人情報保護審議会委員の委嘱について

→保有個人情報の開示および利用停止並びに不作為に対する審査請求の審議などを行うために設置される審議会で，任期満了にともなう推薦依頼があり，引き続き荒木常任理事を推薦することが承認された。

②県地方独立行政法人評価委員会委員の推薦について

→公立大学法人が達成すべき中期目標などについて意見を述べるとともに，業務実績に対して客観的な評価を行う委員会で，任期満了にともなう推薦依頼があり，引き続き河野会長を推薦することが承認された。

③「特定行為に係る看護師の研修制度」推進検討会の委員推薦について

→急性期医療から在宅医療などを支える看護師の計画的な養成と研修制度の推進のため新たに設置される委員会で，医療従事者担当の岩村理事と赤須理事を推薦することが承認された。

２．日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「勤務医委員会」に金丸常任理事を委員として委嘱したいとの依頼があり，本会として了承することが承認された。

３．九州医師会連合会について

①11/10㈫九州医師会連合会第388回常任委員会の開催について

→来年２月の各種協議会の開催種目などを協議する常任委員会で，河野会長の出席と議題提出の希望などがあれば，事務局を経由して河野会長に申し出ることが承認された。

②11/28㈯九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会並びに第120回九州医師会連合会総会・医学会の開催について

→11/28㈯の合同協議会と総会・医学会の出席確認依頼で，11/29㈰の分科会の参加状況などとあわせ，後日，事務局から本会役員などに確認することと

なった。

（報告事項）

１．10/10㈯（県医）九医連常任委員会について

２．10/９㈮（県庁）県新型コロナウイルス感染症対策協議会について

３．10/10㈯（県医）九医連第１回各種協議会について

４．10/12㈪（県医）広報委員会について

５．10/７㈬（県医）県プライマリ・ケア研究会学術広報委員会について

６．10/12㈪（県医）医療従事者向け認知症対応力向上研修会について

７．その他

①宮崎東諸県地域医療構想調整会議について

医師連盟関係

（報告事項）

１．10/11㈰（MRT-micc）山口那津男 公明党代表との懇談会について

２．10/13㈫（宮観ホテル）江藤拓 前農林水産大臣国政報告会について

３．10/13㈫（県医）県議会新型コロナウイルス等感染症対策特別委員会調査について

令和２年10月27日㈫ 第９回全理事協議会

医師会関係

（議決事項）

１．本会外の役員等の推薦について

①治療と仕事の両立支援のための「宮崎県地域両立支援推進チーム」への参集者の推薦依頼について

→病を抱える労働者の治療と仕事の両立支援などを目的に設置される協議会で，役員交代にともなう推薦依頼があり，産業医担当の瀬ノ口常任理事を推薦することが承認された。

２．日本医師会の委員会委員の委嘱について

日本医師会が設置する「学術推進会議」および「会員の倫理・資質向上委員会」の委員に河野会長を委嘱したいとの依頼があり，本会として了承することが承認された。

３．11/10㈫（県医）県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会について

当日提出される要望書の最終確認が行われ，本会から新たに「新型コロナウイルス感染症対策」を加えた９つの要望を提出することが承認された。なお，再度要望書の詳細を担当理事が確認するとともに要望書の変更と時間配分などについては河野会長に一任することとなった。

４．12/５㈯令和２年度家族計画・母体保護法指導者講習会の開催について

「暴力から女性・母性をまもるために」をシンポジウムのテーマに開催される講習会で，県医師会から嶋本理事と上山理事が出席することが承認された。

５．九州医師会連合会について

①Ｒ３.２/13㈯九州医師会連合会令和２年度第２回各種協議会の開催種目について

→本会は九医連担当県のため，開催種目については具体的な意見を提出せず，九医連常任委員会の判断に任せることが承認された。

②11/28㈯九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会並びに第120回九州医師会連合会総会・医学会について

→現在，新型コロナウイルス感染症が比較的落ち着いている状況などもあり，当日，各郡市医師会および各専門分科医会の役員がシーガイアの会場に足を運んでいただけるよう各団体の会長宛に文書で依頼することが承認された。

６．11・12月の行事予定について

役員会を含めた10月および11月の行事予定が承認された。

（報告事項）

１．週間報告について
２．10/14㈬（支払基金）支払基金幹事会について
３．10/20㈫（県医）日医理事会について
４．10/23㈮（宮大医学部）県がん診療連携協議会について
５．10/26㈪（県庁）県医師養成・定着推進宣言署名式について
６．10/27㈫（宮大）宮大経営協議会・学長選考会議について
７．10/16㈮（県庁）県障害者施策推進協議会について
８．10/23㈮（日医）日医医師会共同利用施設検討委員会について
９．特別寄付金の受入れについて
10．10/19㈪（県医）広報委員会について
11．10/16㈮（日医）日医医療秘書認定試験委員会について
12．10/16㈮（県医）生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）について
13．10/16㈮（県医）県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会について
14．10/17㈯（県医）かかりつけ医認知症対応力向上研修会について
15．10/26㈪（県医）介護保険委員会について
16．10/20㈫（県医）看護学校の遠隔授業に関する検討会について
17．９/30㈬（宮崎労働局）労災診療指導委員会について
18．10/５㈪（県医）健康スポーツ医学委員会について
19．10/７㈬（県庁）県周産期医療協議会について
20．10/27㈫（九州厚生局宮崎事務所）九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
21．10/22㈭（宮大医学部）宮大医学部認定再生医療等委員会について
22．その他
　①九医連災害医療研修会および救急・災害医療担当者連絡協議会の打合せについて

医師協同組合理事・運営委員合同協議会
（報告事項）
１．10/27㈫（県医）医協理事・運営委員合同協議会について

宮崎県医師会メーリングリストのご案内

宮崎県医師会では「MMA通信」と「MMA交流（会員交流用）」の２本立てでのメーリングリストの運用をしています。

◆MMA通信
目的：県医師会から会員への情報提供（各種通知文書，研修会の案内など）
対象：会員本人，医療機関代表のアドレスなど

◆MMA交流
目的：会員同士の意見交換，会員からの情報提供
対象：会員本人のみ

◆登録方法について
県医師会事務局宛　office@miyazaki.med.or.jpにメールを送信してください。
折り返し，事務局から登録に関するメールを送信いたします。

災害が発生した場合，情報の収集および発信手段は複数確保することが必要です。
まだ登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

お問い合せ先：宮崎県医師会　学術広報課
TEL 0985-22-5118

県医の動き（11月）

1	ｅレジフェア（Web会議）
3	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会（Web会議）
4	県個人情報保護審議会（荒木常任理事） 県情報化推進有識者会議（荒木常任理事） 県特定行為に係る看護師の研修制度推進検討会（岩村理事他）
5	県高齢者サービス総合調整推進会議（石川常任理事） 宮大医学部医の倫理委員会（大塚理事） 県高齢者サービス総合調整推進会議認知症施策部門（石川常任理事） 県自殺対策推進協議会（吉田常任理事）
6	県医療介護推進協議会（会長他） 県医療審議会（会長他）
8	日医かかりつけ医機能研修制度応用研修会（Web会議）
9	在宅医療協議会研修会（Web会議）（石川常任理事他）
10	九医連常任委員会（日医TV会議）（会長他） 治験審査委員会（荒木常任理事他） 第10回全理事協議会（会長他） 県福祉保健部・病院局と県医師会との意見交換会（会長他）
11	支払基金幹事会（会長） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他）
12	医協会計監査（河野理事長他） 県小児科医会役員会（Web会議）（髙木常任理事） 県産婦人科医会常任理事会（Web会議）（嶋本理事）
13	県訪問看護推進協議会（池井常任理事） 宮崎地方労働審議会（瀬ノ口常任理事） 認知症サポート医・かかりつけ医スキルアップ研修会（TV会議）（石川常任理事）
14	全国学校保健・学校医大会（Web会議）（会長他）
16	自殺対策うつ病研修会（Web会議）（会長他）
17	日医理事打合会（日医TV会議）（会長） 日医理事会（日医TV会議）（会長） 都道府県医師会長会議（日医TV会議）（会長） 宮大医学部附属病院医師研修管理委員会（金丸常任理事） 医療安全対策セミナー（TV会議） 参議院議員自見はなこ「次世代の医療政策を考える会」（Web会議）（河野委員長他） 医療安全対策セミナー（TV会議）（小牧専務理事）
19	（日医）日医医療秘書認定試験委員会（池井常任理事） 広報委員会（Web会議）（荒木常任理事他） 生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（Web会議）（金丸常任理事）
20	県医中間監事監査（会長他）
24	医協理事会（河野理事長他） 第14回常任理事協議会（会長他）
25	労災診療指導委員会（川野理事） 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会（嶋本理事）
26	社会保険医療担当者の新規個別指導（岩村理事）
27	都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）（濱田副会長他） 九州小児科医会保険審査委員連絡協議会（Web会議）（髙木常任理事） 県新型コロナウイルス感染症対策調整本部会議（濱田副会長他）
28	九医連委員・九州各県役員合同協議会（会長他） 九州医師会総会・医学会（会長他）
29	九医学分科会
30	医学賞選考委員会（濱田副会長他） 県新型コロナウイルス感染症対策協議会（濱田副会長他）

ドクターバンク情報

（無料職業紹介所）

令和２年11月２日現在

本会では，会員の相互情報サービスとしてドクターバンク（求人・求職等の情報提供）を設置しております。登録された情報は，当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。
現在，下記のとおりの情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。
お申し込み，お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。
また，宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

１．求職者登録数　７人

１）男性医師求職登録数　７人　（人）

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	4	3	1
麻酔科	1	0	1
精神科	1	0	1
老健	1	1	0

２）女性医師求職登録数　０人　（人）

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
	0	0	0

２．斡旋成立件数　78人　（人）

	男性医師	女性医師	合計
令和２年度	4	0	4
平成16年度から累計	57	21	78

３．求人登録　98件　353人　（人）

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	107	84	23
外科	27	22	5
整形外科	29	23	6
精神科	14	13	1
脳神経外科	12	8	4
循環器科	11	8	3
消化器内科	15	13	2
麻酔科	14	10	4
眼科	10	8	2
放射線科	11	10	1
小児科	4	2	2
呼吸器科	3	3	0
在宅診療	2	2	0
総合診療科・内科	5	4	1
神経内科	8	6	2
呼吸器内科	10	9	1
リハビリテーション科	4	4	0
救命救急科	9	9	0

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
消化器外科	3	2	1
乳腺外科	3	3	0
健診	8	5	3
泌尿器科	4	2	2
産婦人科	1	1	0
検診	3	1	2
皮膚科	5	2	3
婦人科	2	2	0
呼吸器外科	4	3	1
人工透析	7	5	2
リウマチ科	1	1	0
臨床病理科	1	1	0
形成外科	2	1	1
診療科目不問	3	3	0
緩和ケア	1	1	0
内分泌糖尿病内科	2	2	0
その他	8	7	1
合計	353	280	73

求　人　登　録　者（公開）

※求人情報は，申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合，
無料職業紹介所（ドクターバンク）へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は，公開について同意をいただいております。

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
160011	宮崎県赤十字血液センター	宮崎市	検診	3	常勤・非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮崎市	脳外,整,放,麻,内	9	常勤・非常勤
160017	医)宮崎博愛会さがら病院宮崎	宮崎市	乳外,放,麻	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮崎市	精,内	2	常勤
160031	社医)同心会 古賀総合病院	宮崎市	呼内,神内,総診,呼外,病理,乳外,整,麻,代内	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮崎市	精	1	常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮崎市	消内,内泌糖内,呼内,リウ,神内,健診	9	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国富町	内,放	2	常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮崎市	内,神内,整,消内,腫内	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮崎市	消内,呼内,総診	6	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮崎市	内,外	2	常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮崎市	眼	1	常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮崎市	内,外,救急,呼外,婦人,整,麻	12	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮崎市	外,内,放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮崎市	整	1	常勤
210128	医)真愛会 高宮病院	宮崎市	精	2	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮崎市	精	2	常勤
230139	介護老人保健施設 サンフローラみやざき	国富町	内,外	2	常勤
230143	医)社団孝尋会 上田脳神経外科	宮崎市	脳外,内	2	常勤
230144	宮崎医療生活協同組合	宮崎市	呼内,消内,健診,麻	7	常勤・非常勤
230146	財)潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院	宮崎市	内,外,整,脳外,リハ,麻,救急,緩和	13	常勤
230148	医)コムロクリニック	宮崎市	美外,形成外,外,麻	8	常勤・非常勤
230161	医)健心会 滝口内科医院	宮崎市	内,皮	2	非常勤
230164	宮崎県保健所	宮崎市	公衆衛生	3	常勤
230177	医)社団尚成会 近間病院	宮崎市	内,消内,消外,放（いずれか）	1	常勤
230180	一社)藤元メディカルシステム 藤元中央病院	宮崎市	内,糖内,呼内,血内	4	常勤
230185	医)朋詠会 獅子目整形外科病院	宮崎市	整,内	2	常勤
230193	医)共生会 杉田眼科医院	宮崎市	眼	1	常勤
230194	医)財団シロアム 新城眼科医院	宮崎市	眼	2	常勤
230196	医)社団高信会 辰元病院	高岡町	内	1	常勤
230205	医)社団ひなた ひなた在宅クリニック	宮崎市	内	1	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都城市	内,消内,整,神内	7	常勤・非常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都城市	外,脳外,内,透,眼,皮,放,腎内,総診,泌,整	22	常勤・非常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都城市	内,外,整	3	常勤
180064	国立病院機構都城医療センター	都城市	呼内,総診,消内,腫内	4	常勤
180081	医)恵心会 永田病院	都城市	精	2	常勤・非常勤
190092	都城市郡医師会病院	都城市	内,呼内,消内	5	常勤
210114	一社）藤元メディカル藤元病院	都城市	精,内	3	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都城市	消内,消外,乳外	5	常勤・非常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都城市	内	1	常勤
230142	医)魁成会 宮永病院	都城市	内,リハ	2	常勤
230153	都城健康サービスセンター	都城市	放,消内	1	常勤
230162	一社）藤元メディカル藤元総合病院	都城市	内,透,循内,救急,放,呼内	12	常勤
230172	医)静雄会 藤元上町病院	都城市	内	2	常勤

登録番号	施　設　名	所在地	募集診療科	求人数	勤務形態
230179	医)与州会 柳田病院	都城市	内	1	常勤
230181	介護老人保健施設 はまゆう	三股町	内	1	常勤
230183	医)恵心会 坂元医院	都城市	消内,老人内,内	5	常勤・非常勤
230191	医)森山内科・脳神経外科	都城市	内	1	非常勤
230192	医)社団明晴会 速見泌尿器科内科医院	都城市	内	1	常勤・非常勤
230199	医)社団アブラハムクラブベテスタクリニック	都城市	糖内,心内	2	常勤
230202	医)啓仁会 城南病院	都城市	内	1	常勤
230208	医)社団樺の葉 ホームクリニックみまた	三股町	内	1	常勤・非常勤
160012	医)伸和会 延岡共立病院	延岡市	内	2	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延岡市	精,内	3	常勤・非常勤
160034	医)健寿会 黒木病院	延岡市	消外,消内	2	常勤
190086	医)早田病院	延岡市	消内,循内	2	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延岡市	産婦,内,小	3	常勤・非常勤
200102	延岡市医師会病院	延岡市	消内,消外,内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延岡市	内,小	2	非常勤
230156	医)中心会 野村病院	延岡市	内,外	2	常勤
230186	医)隆誠会 延岡保養園	延岡市	精	1	常勤
230189	特医)健腎会 おがわクリニック	延岡市	泌,透	4	常勤・非常勤
230203	医)杉杏会 杉本病院	延岡市	内	1	非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日向市	外,整	4	常勤
210111	福)恩賜財団宮崎県済生会 日向病院	門川町	内,外,脳外,リハ	6	常勤
230147	美郷町国民健康保険西郷病院	美郷町	内,整	2	常勤
230152	美郷町国民健康保険南郷診療所	美郷町	内,整	2	常勤
230160	日向市立東郷病院	日向市	内,整	2	常勤
230200	医)おざきメディカルアソシエイツ尾崎眼科	日向市	眼	1	常勤・非常勤
230201	医)洋承会 今給黎医院	日向市	内,循内	2	常勤
160006	都農町国民健康保険病院	都農町	内,放,外,健診	5	常勤・非常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高鍋町	内,腎内,麻,総診,外,整,脳外,眼,健診	13	常勤・非常勤
230187	国立病院機構宮崎病院	川南町	呼内,循内,糖内,神内,小,整	12	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西都市	内	1	常勤
230204	医)昇山会 上山医院	西都市	内	1	非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日南市	内	4	常勤・非常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日南市	内	1	非常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日南市	内	1	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串間市	精,内	2	常勤
170047	日南市立中部病院	日南市	内,外,整,在宅	4	常勤
180071	串間市民病院	串間市	内,外,総診,消内,腎内	5	常勤
230149	介護老人保健施設 おびの里	日南市	内	1	常勤
230168	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日南市	内	7	常勤・非常勤
230188	医)春光会 春光会記念病院	日南市	外,内	2	常勤
230198	小玉共立外科	日南市	不問	2	常勤・非常勤
230207	介護老人保健施設 みどりの丘	日南市	内	1	常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小林市	内,皮	4	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小林市	眼	2	常勤・非常勤
180067	小林市立病院	小林市	救急,総診,放,麻	6	常勤
180076	医)けんゆう会 園田病院	小林市	外,循内,整,脳外	9	常勤・非常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小林市	精	1	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小林市	整,内,脳外	6	常勤・非常勤
230167	介護老人保健施設 さわやかセンター	小林市	内	1	非常勤
230169	医)連理会 和田クリニック	小林市	内	1	常勤
230197	医)友光会 整形外科押領司病院	小林市	整,内,麻	5	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国民健康保険病院	五ヶ瀬町	内,外	2	常勤
180070	高千穂町国民健康保険病院	高千穂町	内,透	3	常勤
190088	日之影町国民健康保険病院	日之影町	内,外（いずれか）	1	常勤

病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

令和２年11月２日現在

１．譲渡物件	①　**宮崎市阿波岐ヶ原町前田2633番,2634番** 土地のみ：2,022.17㎡（612.77坪）	**所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック**
	②　**西都市中央町２丁目６番地** 土地：2,280.83㎡（691.16坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根３階建 １階　674.74㎡ ２階　547.79㎡ ３階　177.95㎡ 1,400.48㎡（424.38坪） ※別途駐車場あり（20台）	**所有者：西都市西児湯医師会員 図師医院跡**
	③　**小林市細野59－１** 土地：1,098.23㎡（322.79坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根２階建 １階　188.00㎡ ２階　96.00㎡ 284.00㎡（86.06坪） ※駐車場あり（29台）	**所有者：西諸医師会員 （医）桑原皮膚科医院跡**
２．譲渡又は賃貸物件	①　**小林市南西方49番地１** 土地：1,991.34㎡（603.43坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根２階建 １階　471.41㎡ ２階　638.35㎡ 1,109.76㎡（336.29坪） ※駐車場あり（30台）	**所有者：（医）社団 産婦人科 生駒クリニック跡**
	②　**児湯郡川南町大字平田1402－74** 土地：4,449㎡（1,348.18坪） 建物：鉄骨セメント造平屋建 １階　825.66㎡（250.20坪） ※駐車場あり（70台）	**所有者：児湯医師会員 （医）崧雲会 林クリニック**
３．賃貸物件	①　**延岡市無鹿町１丁目710** 土地：1,654.58㎡（501.38坪） 建物：鉄筋コンクリート造陸屋根４階建 １階　145.76㎡ ２階　338.70㎡ ３階　330.69㎡ ４階　14.25㎡ 829.40㎡（251.33坪） ※駐車場あり（50台）	**所有者：（医）社団 隆豊会 江崎医院跡**
	②　**西臼杵郡高千穂町大字上野264番地** 土地：875㎡（265.15坪） 建物：木造瓦葺平屋建 １階　114㎡（34.54坪） ※駐車場あり（20台）	**所有者：西臼杵郡医師会員 後藤医院跡**

ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1．取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2．紹介受付は，月～金の９時～12時及び13時～17時です。
3．申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4．ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5．求職者の紹介時には各医療機関で医師免許等のご確認をお願いいたします。
6．斡旋成立時の紹介料は,「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先　**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒880-0023 宮崎市和知川原１丁目101番地（宮崎県医師協同組合）
TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179
E-mail：isikyou@miyazaki.med.or.jp

日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています

宮崎県医師会広報委員会

E-mail : genko@miyazaki.med.or.jp

FAX : 0985-27-6550

TEL : 0985-22-5118

きりとりせん

日州医事では，読者の皆様から広くご意見・ご感想・ご要望をお待ちしています。本誌に対するご感想や，読みたい記事のご提案など，忌憚のないご意見を是非お寄せください。

なお，いただいたご意見は「読者の広場」として日州医事上で匿名にて紹介させていただくことがあります。掲載を希望されない場合はその旨お知らせください。

注：FAXの際は，このページを切り取り，
裏面の原稿用紙もご利用になれます。

宮崎県医師会広報委員会 行　FAX：0985-27-6550

お名前：

ご所属：

ＴＥＬ：　ＦＡＸ：

きりとりせん

宮崎県医師会行事予定表

令和２年11月24日

12月

1	火	18：00　治験審査委員会（Web会議） 19：00　第15回常任理事協議会
2	水	16：00　全国医師国保組合連合会国保問題検討委員会（Web会議）
3	木	
4	金	13：30　日医公衆衛生委員会（Web会議） 19：00　産業医部会総会・研修会（TV会議） 19：00　医師国保組合理事会
5	土	13：00　日医家族計画・母体保護法指導者講習会（日医TV会議）
6	日	
7	月	13：30　県保険者協議会 19：00　高次脳機能障がい講演会（Web会議） 19：00　県との妊婦健診等に関する協議会
8	火	19：00　第16回常任理事協議会
9	水	14：00　保育支援事業スキルアップ研修会 16：00　支払基金幹事会 18：30　県認知症高齢者グループホーム連絡協議会全体研修会（Web会議） 19：00　宮崎市との妊婦健診等に関する協議会
10	木	19：30　県産婦人科医会全理事会（Web会議）
11	金	13：00　日医勤務医委員会（Web会議） 15：00　（日医）日医医療秘書認定試験委員会 19：00　広報委員会（Web会議）
12	土	15：00　生活習慣病検診従事者研修会（肺・乳・胃・大腸がん検診研修会）（TV会議）
13	日	
14	月	
15	火	13：00　日医理事打合会（日医TV会議） 14：00　日医理事会（日医TV会議） 15：00　県依存症対策推進協議会
16	水	13：00　（日医）日医地域包括ケア推進委員会（Web会議） 17：30　スポーツメディカルランドみやざき検討委員会（仮称） 19：00　広報委員会（Web会議）
17	木	13：00　社会保険医療担当者の個別指導 14：00　日医学術推進会議（日医TV会議） 19：00　県生活習慣病検診管理指導協議会胃がん部会
18	金	19：00　医療事故調査支援委員会常任委員会
19	土	
20	日	
21	月	
22	火	15：00　県個人情報保護審議会 18：30　医協理事会 19：00　第11回全理事協議会 終了後　医協理事・運営委員合同協議会
23	水	15：00　労災診療指導委員会 18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
24	木	19：00　医師会立看護学校担当理事連絡協議会
25	金	13：30　仕事納め式 16：00　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	（年末休業）
30	水	（年末休業）
31	木	（年末休業）

社保審査

国保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

宮崎県医師会行事予定表

令和２年11月24日

1　月

1	金	（年始休業）
2	土	（年始休業）
3	日	（年始休業）
4	月	13：00　新年賀詞交歓会 14：30　仕事始め式
5	火	18：00　治験審査委員会（Web会議） 19：00　第17回常任理事協議会
6	水	
7	木	14：00　日医定款・諸規程検討委員会（Web会議）
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	（成人の日）
12	火	19：00　第18回常任理事協議会
13	水	16：00　支払基金幹事会
14	木	13：30　県後期高齢者医療広域連合運営懇話会 19：30　県産婦人科医会常任理事会
15	金	19：00　広報委員会
16	土	13：00　県がん診療連携協議会５専門部門合同研修会（Web会議） 14：30　産業医研修会（TV会議）
17	日	9：50　宮崎JRAT研修会
18	月	17：00　都道府県医師会新型コロナウイルス感染症担当理事連絡協議会（日医TV会議）
19	火	12：00　日医理事打合会（日医TV会議） 12：30　日医理事会（日医TV会議） 14：20　都道府県医師会長会議（日医TV会議） 16：30　日医連執行委員会（日医TV会議）
20	水	
21	木	
22	金	19：00　県外科医会理事会
23	土	15：00　九州ブロック災害医療研修会 17：10　九医連救急・災害医療担当理事連絡協議会
24	日	
25	月	19：00　広報委員会
26	火	18：00　九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 18：30　医協理事会 19：00　第12回全理事協議会 終了後　医協理事・運営委員合同協議会
27	水	13：30　宮大経営協議会・学長選考会議 15：00　労災診療指導委員会
28	木	
29	金	
30	土	13：00　県警察音楽隊定期演奏会 15：00　県産婦人科医会冬期総会
31	日	

社保審査

国保審査

※都合により，変更になることがあります。
行事予定は県医師会のホームページからもご覧になれます。

医　学　会　・　講　演　会
日本医師会生涯教育講座認定学会

単位：日本医師会生涯教育制度認定単位数，**CC：**カリキュラムコード（当日，参加証を交付）
がん検診：各種がん検診登録・指定・更新による研修会（胃・大腸・肺・乳）
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

※新型コロナウイルス感染症拡大のため，中止や延期となったものがあります。
【中止】や【延期】の表示のないものについても，参加前には開催の有無を主催元にお確かめいただきますようお願いします。

名称・日時・場所	演　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
宮崎県医師会産業医研修会 12月２日㈬ 19：00～21：00 県医師会館	**精神疾患と自殺対策** 産業保健相談員 中村クリニック 院長　中村　究 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 11 (0.5) 69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎市郡内科医会学術講演会（Web講習会） 12月２日㈬ 19：00～19：40 第一三共株式会社東北支店 ※受講はWebのみ	**インフルエンザ・COVID-19診療up to date** 東北医科薬科大学医学部 感染症学教室 教授　関　雅文	8 (0.5)	◇主催 宮崎市郡内科医会 ◇共催 第一三共㈱ （連絡先） 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
第83回宮崎県精神科医会懇話会（Web講習会） 12月５日㈯ 17：00～18：00 広島県広島市 ※受講はWebのみ	**気分障害の生物学的理解の取り組み** 熊本大学 生命科学研究部 神経精神医学講座 教授　竹林　実	69 (0.5) 70 (0.5)	◇主催 ※宮崎県精神科医会 ☎0982-37-0126 ◇共催 大塚製薬㈱

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
西臼杵郡医師会学術講演会（Web講習会） 12月７日㈪ 19：00～20：30 延岡市西臼杵郡薬剤師会２階会議室 ※受講はWebのみ	**慢性腎臓病(CKD)患者を地域でみる，チームでみる～糖尿病性腎臓病(DKD)を中心に～** 宮崎県立延岡病院 内科　戸井田　達典	10（0.5） 11（0.5）	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 延岡市西臼杵郡薬剤師会 ※日本ベーリンガーインゲルハイム㈱ ☎0985-26-9363 日本イーライリリー㈱
令和２年度高次脳機能障がい講演会（Web講習会） 12月７日㈪ 19：00～21：00 県医師会館２階研修室 ※受講はWebのみ	**社会的行動障害を中心に** 神奈川リハビリテーション病院 リハビリテーション部 部長　青木　重陽	19（0.5） 29（0.5） 70（0.5） 78（0.5）	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
不眠症診療セミナー（Web講習会） 12月９日㈬ 19：00～21：00 MRTmicc３階エメラルドホール ※受講はWebのみ	**不眠症の睡眠衛生指導** 宮崎大学医学部 看護学科生活・基盤看護科学講座 准教授　吉永　尚紀	20（1.0）	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※エーザイ㈱ ☎080-5987-5929
	不眠症治療～レンボレキサントの持つポテンシャル～ 宮崎大学医学部 臨床神経科学講座精神医学分野 教授　石田　康	69（1.0）	
宮崎市郡医師会産業医研修会 12月12日㈯ 14：15～17：20 宮崎市郡医師会館１階講堂	**新型コロナウイルス感染症と産業医活動～ウイルス感染後疲労症候群について～** 日南病院 疾病制御研究所 所長　峰松　俊夫 基礎研修の後期研修会：1.5単位	8（1.0） 11（0.5）	◇主催 ※宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
	職場における発達障がいのサポート 宮崎県中央発達障害者支援センター 所長　水野　敦之 生涯研修の専門研修会：1.5単位	9（1.0） 0（0.5）	

名称・日時・場所	演　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
令和２年度宮崎県医師会生活習慣病検診従事者研修会（がん検診指定研修会）【TV会議】 12月12日㈯ 15：00～17：00 県医師会館【TV会議場：都城，延岡，日向，児湯，西都，西諸，西臼杵】	**肺がん検診** 宮崎大学医学部 放射線科 講師　中田　博	7 (0.5) 肺	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118 ◇共催 宮崎県
	コロナ禍の乳がん診療 宮崎県立宮崎病院 外科部長兼医療安全管理科部長　大友　直樹	11 (0.5) 乳	
	胃がんの基礎知識 宮崎大学医学部 消化器内科 副科長　稲津　東彦	12 (0.5) 胃	
	局所進行大腸癌の治療 宮崎大学医学部 外科学講座 准教授　池田　拓人	82 (0.5) 大腸	
第191回宮崎県眼科医会講習会 12月12日㈯ 16：00～18：45 ホテルメリージュ ※受講は現地またはWeb 参加費：3,000円	**オキュラーサーフェス疾患についての最近の話題** 東邦大学医療センター大森病院 教授　堀　裕一	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 大塚製薬㈱
	最近の緑内障手術と合併症対策 千原眼科医院 院長　千原　悦夫	36 (1.0)	
第14回はまゆう整形外科セミナー 12月12日㈯ 17：30～18：30 宮崎観光ホテル東館３階「翠燿の間」	**痙縮に対する整形外科的アプローチ** 宮崎県立こども療育センター センター長　川野　彰裕	72 (0.5)	◇主催 ※宮崎大学医学部整形外科学教室同門会 ☎0985-85-0986
	若年者の上肢疾患症例について考える 藤元総合病院 整形外科 部長　矢野　浩明	78 (0.5)	

名称・日時・場所	演　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
都城市北諸県郡医師会学術講演会 12月14日(月) 19：00～20：40 ホテル中山荘	**高血圧診療と研究における最近の話題** 宮崎大学医学部 内科学講座循環体液制御学分野 教授　北村　和雄	73 (0.5) 74 (0.5) 82 (0.5)	◇主催 ※都城市北諸県郡医師会 ☎0986-22-0711 ◇共催 第一三共㈱
ウイルス性肝炎治療を考える会（Web講習会） 12月18日(金) 19：00～20：00 宮崎観光ホテル ※受講はWebのみ	**Ｂ型肝炎治療のUp to date** 鹿児島市立病院 副院長　堀　剛	27 (0.5) 73 (0.5)	◇主催 宮崎県内科医会 ◇共催 ※ギリアド・サイエンシズ㈱ ☎070-7536-5436
宮崎市郡外科医会冬期講演会（Web講習会） 12月21日(月) 19：00～20：00 中外製薬株式会社宮崎オフィス ※受講はWebのみ	**症例から学ぶ大腸がん薬物療法** 宮崎大学医学部附属病院 臨床腫瘍科 准教授　細川　歩	15 (0.5) 53 (0.5)	◇主催 宮崎市郡外科医会 ◇共催 中外製薬㈱ (連絡先) 宮崎市郡医師会 ☎0985-77-9100
第81回宮崎整形外科懇話会 12月26日(土) 17：30～18：30 県医師会館 参加費：1,000円	**新時代のリウマチトータルマネジメント～手疾患を中心に～** 新潟県立リウマチセンター 院長　石川　肇	61 (1.0)	◇主催 宮崎整形外科懇話会 ◇共催 宮崎県整形外科医会 大正製薬㈱ (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会 １月14日(木) 19：00～21：00 県医師会館	**長時間労働者の面接指導** 産業保健相談員 串間市民病院 院長　江藤　敏治 生涯研修の実地研修会：２単位	1 (0.5) 5 (0.5) 11 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

名称・日時・場所	演　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
第87回宮崎大学眼科研究会 １月16日㈯ 15：00～19：00 宮崎観光ホテル東館３階「翠燿の間」 参加費：2,000円	**病態から考える加齢黄斑変性の長期マネージメント** 名古屋市立大学 眼科学教室 准教授　安川　力	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎大学医学部眼科学教室 ☎0985-85-2806 ◇共催 バイエル薬品㈱
	OCT-Angiographyの日常診療への応用 信州大学 眼科学教室 教授　村田　敏規	36 (1.0)	
宮崎県医師会産業医研修会 １月21日㈭ 19：00～21：00 県医師会館	**この１年間，産業保健はどのように動いたか** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　矢崎　武 生涯研修の更新研修会：２単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ２月４日㈭ 19：00～21：00 延岡市医師会病院	**この１年間，産業保健はどのように動いたか** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　矢崎　武 生涯研修の更新研修会：２単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
第192回宮崎県眼科医会講習会 ２月６日㈯ 16：30～19：00 宮崎観光ホテル西館８階ブリリアントホール 参加費：3,000円	**どげんかせんといかん，緑内障点眼薬選択** 原眼科病院 院長　原　岳	36 (1.0)	◇主催 ※宮崎県眼科医会 ☎0985-28-1015 ◇共催 千寿製薬㈱
	ゲノム医療の最前線 **～網膜ジストロフィから滲出性加齢黄斑変性まで～** 名古屋大学医学系研究科 眼科学 教授　西口　康二	36 (1.0)	

名称・日時・場所	演　　題	CC（単位）がん検診	主催・共催・後援 ※＝連　絡　先
宮崎県医師会産業医研修会 ２月16日㈫ 14：00～16：00 県医師会館	**生活支援機器，リハビリ支援機器等の安全性に関する配慮について** 労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 岡部　康平 生涯研修の専門研修会：２単位	10 (0.5) 14 (0.5) 60 (0.5) 62 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ２月18日㈭ 14：00～16：00 県医師会館	**職場でのアルコール依存症に対する対策** 宮崎県精神保健福祉センター 所長　直野　慶子 生涯研修の専門研修会：２単位	9 (0.5) 11 (0.5) 17 (0.5) 69 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ２月18日㈭ 19：00～21：00 都城市北諸県郡医師会館	**この１年間，産業保健はどのように動いたか** 産業保健相談員 労働衛生コンサルタント　矢崎　武 生涯研修の更新研修会：２単位	3 (0.5) 7 (0.5) 8 (0.5) 9 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会
宮崎県医師会産業医研修会 ２月19日㈮ 19：00～21：00 県医師会館	**精神科産業医から見た定期健康診断の重要性(Ⅱ)** 産業保健相談員 西都病院　植田　勇人 生涯研修の専門研修会：２単位	1 (0.5) 7 (0.5) 9 (0.5) 12 (0.5)	◇主催 ※宮崎産業保健総合支援センター ☎0985-62-2511 ◇共催 宮崎県医師会

医師の求人・求職は日本医師会 女性医師バンクをご利用ください！

日本医師会女性医師バンクは厚生労働省の委託事業です。
登録から紹介・成立まで、費用はすべて無料で利用できます。

女性医師バンクが選ばれる3つのポイント

ポイント1　登録～成立まで費用はすべて無料

登録料、情報掲載料、紹介手数料、成立手数料、相談・サポートなど、
すべて無料でご利用いただけます。

ポイント2　専任のコーディネーターによるサポート体制

経験豊富な専任のコーディネーターが、紹介～成立後の相談まで
きめ細かにサポートいたします。

ポイント3　日本全国、日本医師会の会員・非会員を問わず利用が可能

まずはお気軽にご相談ください！
03-3942-6512（平日10:00～17:00）

詳しくはWebサイトをご覧ください
日本医師会女性医師バンク　検索

日本医師会女性医師バンク 中央センター　〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 日本医師会館B1F

診療メモ

不妊治療について

ARTレディスクリニックやまうち　山内（やまうち）憲之（のりゆき）

はじめに

皆さんは，不妊治療と聞いてどんなことを思われるでしょうか。おそらく，現在不妊治療がかなり一般的になってきたとはいえ，産婦人科の先生方でも不妊治療を専門とされていない先生方にとってはかなり苦手意識があると思います。ましてや，他科の先生方はもちろんのことと思います。そこで，今回このような「診療メモ」という場所をお借りして，一般的な不妊治療についてお話しさせていただきたいと思います。

不妊について

まず，不妊症についてですが，現在のデータでは，不妊症に関する原因の割合は男女が約半々と言われています。もちろん妊娠・出産するのは女性ですが，妊娠しにくい原因に関して言えば男性にも約半分の原因があるのです。その原因はもちろん精子です。精子の数が少なかったり，動きが悪かったり，染色体異常があったりなど，詳細は省きますが原因としては約半分も占めています。

女性に関しては，排卵に関すること，精子や受精卵を運搬する卵管に関すること，着床し妊娠する子宮に関することとさまざまに不妊の原因となり得ることがあります。その原因を探って，治療していくのが不妊治療です。排卵しにくい体質（たとえば多嚢胞性卵巣症候群）であれば，排卵誘発剤を使用して排卵させます。卵管に関することが原因であれば，卵管の通過性を改善する手術（最近では体外受精に助成金が支給されるようになって，そのまま体外受精に移行する人が増えています）を行ったりします。子宮に関しては，子宮筋腫があって着床しにくいと判断すれば，筋腫の摘出手術を行うこともあります。また，子宮や卵巣が癒着していて妊娠しにくいと判断すれば癒着剥離手術を行ったりします。前述した原因が検査上何もないという人でも，なかなか妊娠しない人も多数存在します。現在の不妊症でも原因が不明な人はかなりの割合で存在します。

治療について

今度は，実際の治療に関してですが，一般的に最初の治療はタイミング療法という治療です。卵胞の大きさ，ホルモン検査，子宮内膜の厚さ，尿検査など行い排卵日を特定します。そして，その日に性交渉を行ってもらいます。これがタイミング療法です。タイミング療法を行っても妊娠に至らない場合や，精子の数が少なく通常の性交渉では妊娠が厳しいと考えるときなどには，人工授精を行います。人工授精とは，排卵日に性交渉をしてもらうのがタイミング療法でしたが，この日に処理した精子を子宮内に注入する治療です。この治療では，タイミング療法での妊娠率が１回につき，約５％だったのが，10％弱まで上昇します。それでも，10％弱が限界です。

不妊症の治療の場合，６回という数字が重要になってきます。タイミング療法でも，人工授精でも６回目までは，妊娠の確率が上昇します。しかし，７回目以降に関しては妊娠率の上昇は認めません。もちろん，回数を行うことに

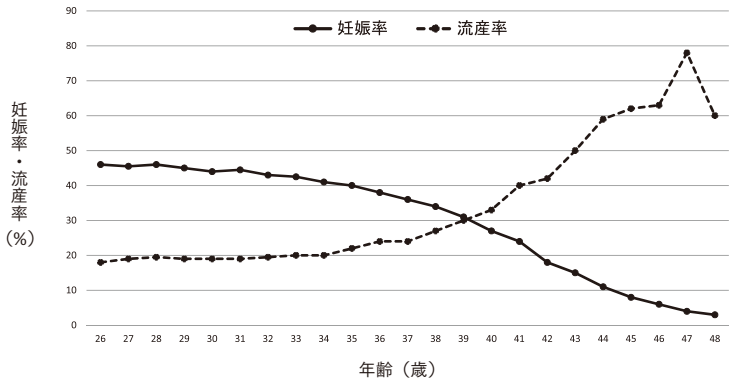


図　ART妊娠率・流産率2018
（出典：日本産科婦人科学会データブック2018より改）

よって妊娠の確率が下降することはありませんが，６回行っても妊娠に至らない場合には，治療方法をステップアップする必要があります。そこで，タイミング療法を６回行っても妊娠しないときには，次からは人工授精を行います。人工授精を６回行っても妊娠しないときには，次からは体外受精を行います。

以前は，人工授精を６回行っても妊娠しないときには，腹腔鏡検査を行っていました。これは今でも行う人もいます。腹腔鏡で腹腔内を精査して，子宮と卵管などが癒着していた際にはその部分の癒着剥離などを行います。この腹腔鏡検査を行うことによって約半数の人がその後に，体外受精を行わずに妊娠することができると言われています。しかし，最近では体外受精に助成金が支給されるようになり，腹腔鏡検査を行う人はかなり減ってきています。

ここで，体外受精では，どれくらいの妊娠率があると思われますか？ 日本産科婦人科学会と日本生殖医学会のまとめた2018年の全国のデータがあります。「ART妊娠率・生産率・流産率」のデータですが，ARTとは「Assisted Reproductive Technology」の略で体外受精を行う不妊治療のことです。毎年，生殖医療を行っている病院は治療を行った患者の数や妊娠数などの成績を学会に報告しているのですが，それをまとめたものです（図）。まだ，2018年のものが一番新しいのでこれを掲載しますが，2020年もあまり変化していないと思われます。

この図は，縦軸が妊娠率，流産率で横軸が年齢です。

最大で45％ほどしか妊娠しないのです。20代でも50％弱です。おそらく皆さんは，80％ほど妊娠するのではないかと思っていらっしゃった方が多数存在すると思います。しかし，現実はこのくらいです。これは，現在学会が抱えている問題（たとえば受精卵の染色体検査など）が解決すれば，まだまだ上昇すると思います。

最後に

最近取り上げられている問題としては，抗がん剤などを使用して，精子の数が減少してしまった男性，抗がん剤などを使用して卵胞が育たなくなった女性をいかにして妊娠させるかということがあります。この問題に関しては，現在日本産科婦人科学会も取り組んでいますが，少なくなった精子の数を増やす手段はありません。また，育たなくなった卵胞の数を元に戻す方法もありません。最も確実な方法は，抗がん剤や妊孕性をなくしてしまう薬剤を使用する前に精子や卵を凍結保存することです。

先生方が，抗がん剤や妊孕性をなくしてしまうような薬剤を使用する必要のある若い患者さんを診られたら，原疾患を治療することはもちろん大切ですが，将来のために妊孕性を残すと言うことにも注意を払っていただけたら幸いです。迷った際には，ぜひご相談ください。

宮大医学部学生のページ

コロナ禍での学生会とその活動

宮崎大学医学部 医学科３年 学生会会長　江藤佑子（えとうゆうこ）

学生会は，宮崎大学医学部の学生からなる自治組織です。主に各学科学年から数名ずつ選出された執行部会が，よりよい学生生活の実現のために学生と大学の橋渡しの役割を果たしています。

今年は新型コロナウイルス感染拡大にともない，宮崎大学でも対面講義の中止，部活動や新歓の制限などさまざまな影響がありました。学生会の活動も例年どおりとはいきませんでしたが，このような状況だからこそ，学生会が積極的に学生の声を集め，大学に報告・意見交換をしてまいりました。

例えば，４月から開始された録画講義では，講義レジュメがPDFで配信されましたが，学生の中には自宅にコピー機を持たない者もおり，大学も閉鎖されていたため学内の印刷機を使うことも叶わず，紙のレジュメが入手できないという相談が寄せられました。これにともない学生会は，講義レジュメに関する緊急アンケートを実施し，どれくらいの学生が自宅での印刷が不可能なのかを調査しました。その結果をもとに大学と交渉したところ，最終的には大学でレジュメを印刷，配布していただけることになりました。

また学生会は，新歓長やサークル委員長などの各種専門委員会をまとめる立場にもあります。コロナ禍において，教務委員長のお声がけにより，定期的に教務委員長，学生支援課，学生会長，そして新歓長・サークル委員長などの専門委員長が集まり意見交換を行う場「課外活動連絡協議会」が設けられました。その延長で，専門委員長を中心に新歓やサークル活動に関する学生の自主ルールを作成し，学生に適応いたしました。今後もリモートでの音楽祭や動画を用いた学祭など，今年ならではの工夫を凝らした行事が計画されております。何でも中止にするのではなくできることはやる，という方針で先生方と学生が一体となって，できるだけ例年に近い形での学修・課外活動の実現のために努めている最中です。

その他，講義室入室前の体温測定や講義室の消毒の担当者を学年全員に割り振ったり，「ひぽまえ」という学生会会誌やLINEを通じて大学の現状を素早く学生に伝えたりと，さまざまな活動を行ってまいりました。８月には一連の対策について「新型コロナウイルス感染防止策についてのアンケート」という形で学生から意見を集め，学生会，先生方，各種専門委員長に

対してフィードバックを行っております。

もちろん，このようなコロナ禍での特徴的な活動だけではなく，アンケートの実施，感染対策を徹底したうえでの学生大会の開催，他大学の自治会とのリモートでの交流など，毎年の活動も形を工夫しながら行いました。また，今年度夏から，大学の教務委員会と学生代表である学生会が対面で建設的な話し合いを行う場として「教務学生連絡協議会」が発足し，大学と学生の連携を深めています。学生と先生方が直接意見交換できる重要な場であり，10月に行われた協議会でも活発な議論が行われました。学生会単体としても，常設の意見箱を設置したり，ポータルサイトに「学生会」ページを開設して情報開示を行ったりと，地盤をより強固にするための新たな取組みを始めています。

新型コロナウイルスにより落ち着かない１年となりますが，だからこそ学生会が大きく飛躍できる１年になるのではないかと考えております。学生の意見を集めやすく伝えやすい，そして大学からも学生からも信頼の厚い組織を構築することを目標に，学生会はこれからも，宮崎大学医学部での充実した学修・学生生活のために，活発な活動を行ってまいります。

2020年度学生大会での集合写真

令和２年 総目次（No.845~No.856）

【表紙】

花	宮崎市	大迫文子	1月号
リフトの上の親子	宮崎市	佐々木　究	2月号
春爛漫	鹿児島市	木佐貫冬星	3月号
SMILE	宮崎市	谷口二郎	4月号
精霊	宮崎市	原　政樹	5月号
たおやか	日南市	新木るり	6月号
早逝した君へ－自作詩	宮崎市	田畑直人	7月号
大淀川花火大会	宮崎市	井ノ口信子	8月号
風にのせて	西都市	安藤　宣	9月号
秋の響き	日南市	谷口浩子	10月号
秋の日を残して風の帰り道	都城市	丸田茂徳	11月号
いざない	西都市	安藤　宣	12月号

【会長のページ】　会長　河野雅行

年頭所感	1月号
医師の健康寿命	2月号
2020年診療報酬改定に想う	3月号
新型コロナウイルス災禍	4月号
医学部地域枠・地域特別枠	5月号
九州医師会連合担当	6月号
オリンピックとスポーツメディカルセンター	7月号
地域医療構想調整会議	8月号
今年の夏に想う	9月号
九医連総会・医学会参加	10月号
医療事故調査委員会その後	11月号
医師の休日	12月号

【COVID-19報告】

新型コロナウイルス感染症に係る県医師会の動き	常任理事	吉田建世	6～12月号

【日州医談】

医療計画の改定について	常任理事	金丸吉昌	1月号

スポーツメディカルサポート－スポーツメディカルランド宮崎の構築－	理　事	帖佐悦男	２月号
オンライン診療を含めた令和の情報化について	理　事	嶋本富博	３月号
看護基礎教育におけるカリキュラム改正について	理　事	園田定彦	４月号
都城市北諸県郡医師会における「デジタルケアマネジメント」への取組み	理　事	瀬ノ口洋史	５月号
新型コロナウイルス感染症に係る電話等を用いた診療について	理　事	嶋本富博	６月号
日本医師会第四次医師会将来ビジョン委員会に参加して	理　事	大塚康二朗	７月号
県立病院の看護師中途採用問題について	理　事	赤須郁太郎	８月号
新型コロナウイルス感染症の蔓延化に備えて	副会長	濱田政雄	９月号
医師国保からみた新型コロナウイルスの影響	理　事	佐々木　究	９月号
医業承継を考える	副会長	山村善教	10月号
医事紛争について	常任理事	小牧　斎	11月号
オンライン診療の現状と課題	常任理事	荒木早苗	12月号

【挨拶】

年頭所感	日本医師会長	横倉義武	１月号
年頭所感	顧　問	秦　喜八郎	１月号
年頭所感	顧　問	稲倉正孝	１月号
年頭所感	宮崎市郡医師会長	川名隆司	１月号
年頭所感	都城市北諸県郡医師会長	田口利文	１月号
年頭所感	延岡市医師会長	吉田建世	１月号
年頭所感	日向市東臼杵郡医師会長	千代反田　晋	１月号
年頭所感	児湯医師会長	永友和之	１月号
年頭所感	西都市西児湯医師会長	松本英裕	１月号
年頭所感	南那珂医師会長	中村彰伸	１月号
年頭所感	西諸医師会長	内村大介	１月号
年頭所感	西臼杵郡医師会長	佐藤元二郎	１月号
年頭所感	宮崎大学医学部医師会長	鮫島　浩	１月号
年頭所感	内科医会長	比嘉利信	１月号
年頭所感	小児科医会長	髙山修二	１月号
年頭所感	外科医会長	白尾一定	１月号
年頭所感	整形外科医会長	松本宏一	１月号

年頭所感	皮膚科医会長	成田博実	１月号
年頭所感	産婦人科医会長	肥後貴史	１月号
年頭所感	泌尿器科医会長	蓑田国広	１月号
年頭所感	眼科医会長	柴田　博	１月号
年頭所感	耳鼻咽喉科医会長	井手　稔	１月号
年頭所感	精神科医会長	吉田建世	１月号
年頭所感	放射線科医会長	平井俊範	１月号
年頭所感	東洋医会長	川越宏文	１月号
年頭所感	透析医会長	藤元昭一	１月号
年頭のご挨拶	宮崎県知事	河野俊嗣	１月号
年頭のご挨拶	宮崎大学長	池ノ上　克	１月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（１区）	武井俊輔	１月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（２区）	江藤　拓	１月号
年頭のご挨拶	衆議院議員（３区）	古川禎久	１月号
年頭のご挨拶	参議院議員	松下新平	１月号
年頭のご挨拶	参議院議員	長峯　誠	１月号
年頭のご挨拶	参議院議員	羽生田　俊	１月号
年頭のご挨拶	参議院議員	自見はなこ	１月号

【随想・随筆】

白内障の手術をする前した後	宮崎市	谷口二郎	３月号
船医日記－転居異聞（その２）	宮崎市	森　憲正	５月号
Saudade サウダージ	宮崎市	林　透	10月号
日付変更線通過記念証－転居異聞（その３）	宮崎市	森　憲正	10月号
寒中に植えた春の花	宮崎市	友成久雄	10月号
各地巡りの同窓会	宮崎市	内田　攻	10月号
表彰状，感謝状－転居異聞（その４）	宮崎市	森　憲正	11月号
何年になりますか？	宮崎市	谷口二郎	12月号

【新春随想・俳壇・歌壇・川柳・絵画】

エチケットからマナーへ	宮崎市	谷口二郎	１月号
老人保健施設に勤めて	宮崎市	大西雄二	１月号
どこまでも一直線	高鍋町	重永哲洋	１月号
Cashless時代に思うこと	宮崎市	横田直人	１月号
認知症と55年	三股町	三山吉夫	１月号

一人旅の不安と楽しみ	延岡市	高崎眞弓	1月号
昭和に生きた名もない男のひとりごと	延岡市	宝珠山　弘	1月号
今年の抱負＝67歳のサーフィン挑戦＝	宮崎市	大塚伸昭	1月号
AI時代の老医	宮崎市	鶴田和仁	1月号
美術館巡りを楽しむには。	宮崎市	西村篤乃	1月号
熊野古道（小辺路（こへち））	延岡市	長沼弘三郎	1月号
古希を迎えて	宮崎市	山村善教	1月号
同じ84歳でも…	都城市	横山陽二	2月号
お清めの塩	高鍋町	坂田師通	2月号
新病院移転について	延岡市	日髙文郎	2月号
趣味が高じて	延岡市	高尾雄平	2月号
私の天体観測	高鍋町	大森史彦	2月号
龍馬クルーズ	新富町	谷畠　満	2月号
ONE TEAM	小林市	竹之内　剛	2月号
今思うこと	宮崎市	弓削達雄	2月号
古美術　李伽	都城市	貴島俊英	2月号
欲しいなぁ，心と体の健康長寿	宮崎市	本田正之	2月号
還暦の不安	宮崎市	鈴木斎王	2月号
台北旅行記	宮崎市	皆川明大	2月号
新元号でも医科歯科連携を	宮崎市	山下善弘	2月号
渡し板	日南市	山口和正	2月号
当直人生を振り返る	宮崎市	近藤千博	2月号
東京オリンピックに向けて	都城市	野田俊一	2月号
乳がん死亡率と罹患率が日本一低い，女性がキラキラ輝く宮崎県	北海道帯広市	難波　清	2月号

【はまゆう随筆・短歌・俳句】

人の命，魚の命	宮崎市	谷口二郎	7月号
耳従うなかれ	えびの市	森藤秀美	7月号
思えば遠くへ来たもんだ	都城市	菅　好文	7月号
幻の2020年東京オリンピックにならないで	都城市	野田ゆり子	7月号
セミ・リタイアメント	宮崎市	細見　潤	7月号
新しいフロンティア	延岡市	宮田純一	7月号
志村けんはすごい！	延岡市	能勢直弘	7月号

霧島連山を眺めて２か月	小林市	大塚伸昭	7月号
ピアノ	宮崎市	山内　励	7月号
台南旅行記	日向市	康田明照	7月号
それからの屋上庭園	日南市	北村恵子	7月号
ある新聞のコラムから	宮崎市	大西雄二	7月号
ヘボ碁に　乾杯！	宮崎市	後藤　勇	7月号
同じところへ何回旅行するか	宮崎市	高崎眞弓	7月号
加江田渓谷の散策	宮崎市	長嶺和弘	8月号
巡礼“起”	延岡市	長沼弘三郎	8月号
思い出の日本ダービー	延岡市	岡村博道	8月号
古希を迎えました	小林市	小原健一	8月号
思い出	宮崎市	上山征史郎	8月号
大幡沢を歩く	宮崎市	呉屋朝和	8月号
病室で念仏を唱えなさい	高鍋町	坂田師隣	8月号
惜別　ステーキハウスアンガス	宮崎市	稲倉琢也	8月号
田部井淳子さんの「チソミソ」	高鍋町	大森史彦	8月号
RPCフイルム	宮崎市	杜若陽祐	8月号
ランダム再生	日南市	山口和正	8月号
日本の肝硬変の病因の変遷	宮崎市	宇都浩文	8月号
冷やし中華はじめました	高鍋町	坂田師通	8月号
77年をふり返って	宮崎市	獅子目　輯	9月号
映画“無法松の一生”の蜂須賀医院	宮崎市	蜂須賀裕志	9月号
卒後20年	宮崎市	室井栄治	9月号
てげてげ医者の呟き	宮崎市	市原美宏	9月号
コロナ報道に思うこと	宮崎市	春山幸洋	9月号
新型コロナウイルスとの戦い	宮崎市	南嶋洋一	9月号
地域医療枠医師へ最大の支援を	日南市	河野清秀	9月号
鯨飲のプラハ	宮崎市	後藤　崇	9月号
新庁舎建設	西都市	岩見晶臣	9月号
ロストフの14秒	宮崎市	細川和義	9月号
新型コロナウイルスは，ヒトの生活にパラダイムシフトをもたらすか？	宮崎市	本田正之	9月号

【エコー・リレー】

やさしい気持ちで	日南市	田中茂樹	１月号
夢が叶った？	都城市	小牧　亘	１月号
犬と私	延岡市	大重智広	２月号
ゴルフのドウ具ドウしよう	延岡市	公文崇詞	２月号
職員採用としてのヤギ	宮崎市	卜部浩俊	３月号
48歳，初マラソン！	宮崎市	川野彰裕	３月号
おんぶと抱っこ	宮崎市	糸数智美	４月号
猫に尽くす日々	宮崎市	明野慶子	４月号
メンテナンス？	えびの市	児玉久美子	５月号
新しい春	延岡市	石井紗綾	５月号
心の会話	高鍋町	織田真悠子	６月号
運命的な出会い	宮崎市	黒木いしえ	６月号
令和２年春	宮崎市	迫田万里代	７月号
お弁当作り	都城市	仮屋暢人	７月号
ミニマリズムのススメ	新富町	大山龍介	８月号
無の境地	宮崎市	深尾　理	８月号
新型コロナと子どもたち	宮崎市	安部なつみ	９月号
球技	宮崎市	上別府豊治	９月号
手話は言語	宮崎市	岩﨑直哉	10月号
娘ができました	宮崎市	河原勝博	10月号
防災に備える	宮崎市	横山晃子	11月号
開業の後押しをしてくれた石段	宮崎市	石田康行	11月号
家電の進化	都城市	柳田かえで	12月号
ルーティン	宮崎市	近間浩史	12月号

【叙位・叙勲】

平成31年１月～令和元年12月までの叙勲及び・表彰・祝賀受賞会員			１月号
旭日双光章	宮崎市郡医師会	濱砂重仁	７月号
旭日双光章	西都市西児湯医師会	相澤　潔	12月号

【表彰・祝賀】

公衆衛生功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	田爪靖史	２月号
公衆衛生功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	志々目栄一	２月号
公衆衛生功労により県知事表彰	日向市東臼杵郡医師会	渡邊康久	２月号

公衆衛生功労により県知事表彰	西都市西児湯医師会	大　塚　和　子	２月号
公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰	都城市北諸県郡医師会	矢　野　良　英	３月号
公衆衛生事業功労により厚生労働大臣表彰	日向市東臼杵郡医師会	大久保　史　明	３月号
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰	都城市北諸県郡医師会	大　窪　利　隆	３月号
公衆衛生事業功労により日本公衆衛生協会長表彰	西都市西児湯医師会	兒　玉　健　二	３月号
警察部外功労者表彰（警察協力章）	日向市東臼杵郡医師会	和　田　徹　也	９月号
救急医療事業功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	城　山　暢　博	10月号
救急医療事業功労により県知事表彰	延岡市医師会	佐　井　伸　男	10月号
救急医療事業功労により県知事表彰	西都市西児湯医師会	松　本　英　裕	10月号
国民健康保険事業及び介護保険事業功労により国民健康保険中央会表彰	宮崎市郡医師会	立　元　祐　保	12月号
学校保健及び学校安全に関する文部科学大臣表彰	宮崎市郡医師会	杉　田　幸　雄	12月号
	延岡市医師会	木　下　義　美	12月号
国民健康保険関係功績により厚生労働大臣表彰	南那珂医師会	峯　　一　彦	12月号
精神保健福祉事業功労により厚生労働大臣表彰	宮崎市郡医師会	井　上　雅　文	12月号
社会保険診療報酬支払基金関係功績により厚生労働大臣表彰	延岡市医師会	山　口　哲　朗	12月号
精神保健福祉事業功労により県知事表彰	都城市北諸県郡医師会	有　田　一　信	12月号
医療功労により県知事表彰	宮崎市郡医師会	立　元　祐　保	12月号
	宮崎市郡医師会	山　村　善　教	12月号
	都城市北諸県郡医師会	政　所　治　道	12月号
	延岡市医師会	井　手　　稔	12月号
	南那珂医師会	島　田　雅　弘	12月号

【新任教授挨拶】

感覚運動医学講座　眼科学分野	教　　授	池　田　康　博	３月号

【あなたできますか？】　各　号

【宮崎県感染症発生動向】　各　号

【メディアの目】

対話の本質を考え，柳に学ぶ	宮崎日日新聞	報道部長	小川祐司	２月号
2020東京五輪をきっかけに	MRT宮崎放送	報道部長	馬登　貴	３月号
口蹄疫から学ぶ	南日本新聞社	宮崎支局長	川野裕和	４月号
入浴支援を超える“支援”	NHK宮崎放送局	放送部長	森　将仁	５月号
「コロナ孤独死」を受忍できるか	朝日新聞	宮崎総局長	佐藤修史	６月号
青島の光と影	共同通信	宮崎支局長	上野敏彦	７月号
「コロナ後」，発信すべき宮崎の魅力	時事通信社	宮崎支局長	舟木　靖	９月号
特別な夏を越えて	読売新聞	宮崎支局長	若松健一	10月号
人間到る処青山あり	西日本新聞	宮崎支局長	佐伯浩之	11月号
患者の姿勢	毎日新聞	宮崎支局長	梅山　崇	12月号

【郡市医師会だより】

西諸医師会（メイン）	理　事	吉村雄樹	２月号
西臼杵郡医師会（メイン）	会　長	佐藤元二郎	３月号
宮崎大学医学部医師会（メイン）	会　長	鮫島　浩	４月号
宮崎市郡医師会（メイン）	理　事	尾田朋樹	５月号
宮崎市郡医師会	会　長	川名隆司	８月号
都城市北諸県郡医師会	会　長	田口利文	８月号
延岡市医師会	会　長	佐藤信博	９月号
日向市東臼杵郡医師会	会　長	千代反田　晋	９月号
児湯医師会	会　長	永友和之	10月号
西都市西児湯医師会	会　長	松本英裕	10月号
南那珂医師会	会　長	中村彰伸	11月号
西諸医師会	会　長	内村大介	11月号
西臼杵郡医師会	会　長	植松昌俊	12月号
宮崎大学医学部医師会	会　長	鮫島　浩	12月号

【国公立病院だより】

日南市立中部病院	院　長	竹中晃司	３月号
日之影町国民健康保険病院	院　長	上田修三	５月号
えびの市立病院	院　長	河内謙介	７月号
宮崎大学医学部附属病院	院　長	鮫島　浩	９月号
都農町国民健康保険病院	院　長	立野　進	11月号

【宮崎大学医学部だより】

機能制御学講座　機能生化学分野	教　授	西　頭　英　起	２月号
臨床神経科学講座　精神医学分野	医局長	三　好　良　英	３月号
社会医学講座　法医学分野	教　授	湯　川　修　弘	４月号
地域医療・総合診療医学講座	教　授	吉　村　　学	５月号
病態解析医学講座　麻酔生体管理学分野	医局長	石　山　健次郎	６月号
外科学講座　心臓血管科学分野，呼吸器・乳腺外科学分野，肝胆膵外科学分野，消化管・内分泌・小児外科学分野，形成外科学分野	教　授	七　島　篤　志	７月号
宮崎大学医学部附属病院患者支援センター	副病院長・センター長	鈴　木　斎　王	８月号
感染症学講座　微生物学分野	教　授	新　　竜一郎	９月号
解剖学講座　組織細胞化学分野	教　授	菱　川　善　隆	10月号
病理学講座　腫瘍・再生病態学分野	助　教	福　島　　剛	11月号
臨床神経科学講座　脳神経外科学分野	医局長	大　田　　元	12月号

【専門分科医会だより】

放射線医会	会　長	平　井　俊　範	３月号
内科医会	常任理事	光　川　知　宏	４月号
東洋医会	会　長	川　越　宏　文	５月号
外科医会	会　長	白　尾　一　定	６月号
皮膚科医会	会　長	田　尻　明　彦	８月号
整形外科医会	会　長	松　本　宏　一	９月号

【部会だより】

勤務医部会	部会長	菊　池　郁　夫	７月号
病院部会・医療法人部会	医療法人部会長	相　澤　　潔	10月号
学校医部会	理　事	髙　木　純　一	11月号
産業医部会	常任理事	瀬ノ口　洋　史	12月号

【報告（宮崎県医師会各種委員会）】

医学賞選考委員会	１月号
医学会誌編集委員会	４，10月号
健康スポーツ医学委員会	11月号
介護保険委員会	12月号

【報告（諸会議）】

第120回九州医師会医学会 第２回準備委員会	１月号
九州医師会連合会第１回各種協議会	１月号

九州医師会連合会第381回常任委員会　１月号
宮崎県地域医療・福祉推進協議会代表者会　２月号
医師会立看護学校担当理事連絡協議会　２月号
九州医師会連合会第382回常任委員会　３月号
宮崎県医師会公衆衛生・感染症委員会　４月号
九州医師会連合会第118回臨時委員総会　４月号
九州医師会連合会委員・九州各県医師会役員合同協議会　４月号
第119回九州医師会連合会総会・医学会　４月号
第３回各郡市医師会長協議会（各郡市医師連盟委員長会）　５月号
第４回各郡市医師会長協議会　５月号
九州医師会連合会第383回常任委員会　５月号
九州医師会連合会令和元年度第２回各種協議会　５月号
九州医師会連合会常任委員会・九州各県医師会次期会長合同会議　７月号
第171回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）　８月号
第172回宮崎県医師会定例代議員会（概要）　８月号
第173回宮崎県医師会臨時代議員会（概要）　８月号
令和２年度第77回宮崎県医師会総会　８月号
九州医師会連合会第384回常任委員会　８月号
九州医連連絡会第29回常任執行委員会　８月号
第１回全国医師会産業医部会連絡協議会　８月号
新型コロナウイルス対策の第二次補正予算に関する連絡会　８月号
第120回九州医師会医学会実行委員会　９月号
九州医師会連合会第385回常任委員会　９月号
九州医連連絡会第30回常任執行委員会　９月号
九州医師会連合会第386回常任委員会　10月号
九州医師会連合会第387回常任委員会　11月号
九州医師会連合会第388回常任委員会　12月号

【報告（その他）】

医療事故調査制度における宮崎県の活動状況
宮崎県医師会医療事故調査支援委員会　委員長　比　嘉　利　信　７月号

【宮崎県医師協同組合だより】

医師求人情報検索システム「みやざきドクターバンク」の構築について　１月号
「クレーム対応費用保険」のご案内　３月号

医師協同組合提携のメディカルカードについて　５月号
医師協同組合と㈱リスクマネジメント・ラボラトリーとの生命保険事業等の共同サポートについて　７月号
医師協同組合提携のメディカルカードについて　９月号
宮崎県医師協同組合第36回通常総代会理事会　10月号
グループ保険（団体定期保険）のおすすめ　11月号

【宮崎県医師国保組合だより】

保健事業のご案内　１～３，６～８，10～12月号
第24回歩こう会について（予告）　２月号
令和２年度の保険料賦課について　４月号
国民健康保険法第116条にかかる届出のお願い　４月号
令和元年度宮崎県医師国民健康保険組合第122回通常組合会　５月号
保健事業に関するお願い　５月号
健康保険適用除外申請の手続きについて　５月号
国民健康保険法第116条にかかる届出について　５月号
令和２年度宮崎県医師国民健康保険組合第123回通常組合会　９月号
宮崎県医師国民健康保険組合役員について　９月号

【追悼のことば】

平　田　　實　先生　延岡市医師会　12月号

【診療メモ】

児童精神科について　独立行政法人国立病院機構 宮崎東病院　赤　松　　馨　橋　口　浩　志　１月号
当院睡眠外来での話題　潤和会記念病院　鶴　田　和　仁　２月号
急性リンパ性白血病の最新治療　宮崎大学医学部内科学講座　消化器血液学分野　血液内科　秋　月　渓　一　下　田　和　哉　３月号
急性期脳梗塞に対する機械的脳血栓回収療法について　宮崎大学医学部附属病院　脳神経外科　大　田　　元　４月号
宮崎県における「小児外科」診療について　県立宮崎病院　小児外科　永　田　公　二　５月号
新しい心原性塞栓症予防の治療 左心耳閉鎖デバイス　宮崎市郡医師会病院心臓病センター　循環器内科　古　堅　　真　６月号

大腸ポリープの新規治療法コールド・ポリペクトミー
田中外科内科医院　消化器内科　星　子　新　理　7月号

めまいの診断と治療
医療法人建悠会　吉田病院精神科・耳鼻咽喉科　清　水　謙　祐　8月号

ふるえの診療　宮崎大学医学部附属病院脳神経内科　望　月　仁　志　9月号

閉塞隅角緑内障における禁忌薬剤について
宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野　日　髙　貴　子　10月号

足のトラブル（巻き爪，タコ，ウオノメ）の治療－足育の重要性－
いのうえ皮ふ科　井　上　知　宏　11月号

不妊治療について　ARTレディスクリニックやまうち　山　内　憲　之　12月号

【私の本】

イラストで学ぶ病気や身体の基礎知識２，それでもタバコを吸いますか？
小林市　大　塚　伸　昭　8月号

医療概論－医療従事者のコモンセンス14章－　宮崎市　髙　崎　眞　弓　11月号

【私が推薦する本】

青春の墓標　ある学生活動家の愛と死　宮崎市　大　西　雄　二　11月号

元彼の遺言状　宮崎市　永　井　公　洋　12月号

【宮大医学部学生のページ】

宮崎大学学園祭　第15回清花祭～桜花爛漫～　開催報告
医学科４年　大　西　啓　1月号
石　田　貫　大

宮崎の“よか”医療を学ぶ　医学科５年　大　槻　佑生子　2月号

研究室配属について　医学科３年　加　納　萌　子　3月号

国家試験の現状と，国試対策委員の活動について　医学科５年　伊　澤　和　範　4月号

2019年度国家試験の結果報告と課題　医学科５年　有　田　圭　佑　5月号

部活動紹介～柔道部～　医学科５年　坂　本　竜　一　6月号

部活動紹介～室内楽部～　医学科３年　堀　紫　苑　7月号

令和２年度，新入生歓迎委員よりご報告　医学科４年　高　尾　政　輝　8月号

部活動紹介～軟式テニス部～　医学科４年　有　村　祐　斗　9月号

研究室配属について　医学科３年　桑　山　英　華　10月号

宮崎大学学園祭　清花祭（中止）　医学科４年　濵　川　晃　輔　11月号

コロナ禍での学生会とその活動　医学科３年　江　藤　佑　子　12月号

【その他】

宮崎県医師会役員等名簿　７月号
各郡市医師会役員等名簿　８月号
宮崎県医師会理事業務分担　８月号
令和２年総目次　12月号

【公示】

宮崎県医師会役員等の選挙について　４月号
宮崎県医師会役員等選挙当選人名簿　６月号

【お知らせ】

宮崎県医療勤務環境改善支援センター　各　号
郡市医師会への送付文書　各　号
日州医事へのご意見・ご感想をお待ちしています　各　号
宮崎県医師会メーリングリストのご案内　２，11，12月号
医師の求人・求職は日本医師会女性医師バンクをご利用ください！　２，３，６，９，12月号
医師資格証を持ちましょう　２，５～７，９，10，12月号
勤務医・研修医の先生へお知らせ～春の異動シーズンに備えて～（医師会・医師協同組合）　３月号
女性医師の皆様へ（マタニティ白衣貸出）　３～５，12月号
宮崎県医師会諸会費について　４月号
宮崎県糖尿病発症予防・糖尿病性腎症重症化予防の取組みに係る医療機関対象調査について　４月号
第21回宮崎県医師会医家芸術展作品募集！　４，５月号
宮崎県医師会・医師国保組合・医師協同組合事務局職員配置　５月号
「はまゆう随筆」原稿募集　５，６月号
クールビズについて　５～10月号
医療事故調査制度相談窓口　６，７，10，11月号
第４回生命を見つめるフォト＆エッセー作品募集　７～９月号
令和２年度日本医師会認定医療秘書養成制度卒業生求職のお願い　７～９月号
第21回宮崎県医師会医家芸術展開催案内　７月号
第21回宮崎県医師会医家芸術展　中止　８月号
日州医事投稿についてのお知らせ　９月号
「新春随想」原稿募集　10，11月号
第120回九州医師会総会・医学会のご案内　10，11月号
日本医師会生涯教育講座参加証配布の停止について　10，11月号
年末・年始の休館について　12月号

医師資格証を持ちましょう

『医師資格証』はHPKI（保健医療福祉分野公開鍵基盤）の枠組みを使った日本医師会認証局が発行する医師資格を証明するカードです

医師資格証は5年ごとの更新になりました

申請方法と受け取り方法が変更になりました

年間利用料が廃止されました

2年ごとのオンライン更新が不要になりました

診療情報提供書等へのHPKI電子署名に対応しています

医師資格証 ご利用シーン

地域医療連携内での診療情報提供書への**HPKI電子署名**
（平成28年診療報酬改定において加算を算定することが可能）

電子処方せん発行時の**HPKI電子署名**に使用

日医生涯教育制度、認定医、かかりつけ医など各種研修時の**受講履歴、取得単位管理**に使用

地域医療連携システムへの**ログイン認証**

医師資格証ポータルサイトの利用

治験データへの**HPKI電子署名**

文書交換サービスの利用

身分証としての活用
JAL DOCTOR登録制度などへの任意登録に使用する
※医師資格証を身分証として活用できるように各企業、行政機関に働きかけを行なっています

日本医師会 電子認証センター
Japan Medical Association Certificate Authority
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8　文京グリーンコートセンターオフィス17階

詳しくは日本医師会電子認証センターホームページをご覧ください。　http://www.jmaca.med.or.jp/

お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内します。詳細につきましては，会員専用ページをご覧いただくか，所属郡市医師会へお問い合わせください。会員専用ページを見るためにはユーザ名，パスワードが必要ですので，県医師会学術広報課（TEL 0985-22-5118）にお問い合わせください。

またMMA通信（県医師会から会員への情報提供メーリングリスト）でも本文書について随時お知らせしていますので，まだご登録されていない会員の方はぜひご登録をお願いします。

送付日	文　書　名
10月１日	・毎月勤労統計調査全国調査及び地方調査第一種事業所の事前調査への協力のお願い ・健康経営優良法人2021の申請受付について ・「令和２年度 在宅関連講師人材養成事業研修会」の周知について ・「平成30年介護サービス施設・事業所調査の結果」送付について ・検査料の点数の取扱いについて ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その33）」の送付について ・「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて」の一部改正について（経過措置の一部延長） ・NBCR対策推進機構第７回「生物テロ・バイオ災害対策担当者養成講習会」の開催について ・次のインフルエンザの流行に備えた体制整備（全体像）について ・2020年度 認知症短期集中リハビリテーション研修（医師対象）【Webによる研修】の開催について
10月２日	・新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の臨時的な取扱いについて（その28） ・新型コロナウイルス感染症対策による医療機関が利用可能な主な金融措置について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その34）」の送付について ・「新型コロナウイルス感染症に係る行政検査における診療報酬の請求等に関する取扱い及び留意点について」の一部改正について ・パリペリドンパルミチン酸エステル持効性懸濁注射液（12週間隔筋注製剤）使用にあたっての留意事項について
10月５日	・ラブリズマブ（遺伝子組換え）製剤の使用にあたっての留意事項について ・戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「AI（人工知能）ホスピタルによる高度診断・治療システム」成果発表シンポジウム2020の開催について ・「児童生徒等の脊柱側わん症の早期発見について（周知依頼）」の送付について ・次のインフルエンザの流行に備えた「診療・検査医療機関」の設置に係る各医療機関の発熱患者の受診体制の確認について ・令和２年度 インフルエンザ流行期における発熱外来診療体制確保支援補助金（インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業及びインフルエンザ流行期に備えた発熱患者の電話相談体制整備事業）に関するＱ＆Ａ（第１版）について ・令和２年度 新型コロナウイルス感染症の流行下における一定の高齢者等への検査助成事業（令和２年度予備費分）の実施等について
10月６日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について ・「「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」，「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行令」及び「再生医療等の安全性の確保等に関する法律施行規則」の取扱いについて」の一部改正について ・「病原微生物検出情報」の送付について ・感染症法に基づく届出の基準等の一部改正等について（新型コロナウイルス感染症関連） ・令和２年度 病床機能報告の実施について ・「看護教員に関する講習会の実施要領について」の一部改正等について

送付日	文　書　名
10月８日	・抗PD-1抗体抗悪性腫瘍剤（オプジーボ点滴静注）及び抗PD-L1抗体抗悪性腫瘍剤（テセントリク点滴静注）に係る最適使用推進ガイドラインの策定に伴う留意事項の一部改正について ・令和２年度「疼痛緩和のための医療用麻薬適正使用推進講習会～症例から適正使用を学ぶ～」の一部日程の開催中止について ・社会医療法人の認定要件，特定医療法人の承認要件及び持分の定めのない医療法人への移行計画の認定要件の一部改正について ・令和２年度 最低賃金額の改定に関する周知・広報の実施等について ・医療機関向けキャッシュレスサービス　２次パイロットスタディ参加者募集について ・医師会立看護師等養成所の臨地実習時における新型コロナウイルス感染症の検査費用補助の取扱いについて ・母子保健法施行規則の一部を改正する省令の公布及び母子健康手帳の記載事項の取扱い等について ・令和２年度「体力つくり強調月間」ポスター等の送付について ・医薬品医療機器等法上の効能・効果等の変更に伴う留意事項の一部改正等について（ユルトミリス，トルツ，エンハーツ） ・マッチングイベント等の実施による特定技能制度の活用の促進について ・インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保に係る診療時間等の変更に係る医療法上の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症が疑われるもの等の診療に関する留意点について（その３） ・高齢者施設における施設内感染対策のための自主点検について（その２） ・新型コロナウイルス感染症に関連した感染症拡大防止のための衛生・防護用品（使い捨て手袋）の都道府県等への配布について
10月12日	・医薬品等の条件付き承認に係る添付文書等の記載要領の改正及び条件付き承認等の添付文書等上での取扱いについて「麻酔科標榜許可の審査に係る医療法施行規則の一部改正の留意事項について」の一部改正について
10月13日	・令和２年度 病床機能報告の実施等について ・防災推進国民大会2020オンライン特設ページにおけるアーカイブ動画の公開について ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業　第21回報告書」及び「薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 2019年 年報」の周知について ・令和２年台風第14号に伴う災害の被災者に係る被保険者証等の提示等及び公費負担医療の取扱いについて ・令和２年度 臓器移植普及推進月間の実施について ・新型コロナウイルス感染症にかかる検査料の点数の取扱いについて ・検査料の点数の取扱いについて ・新型コロナウイルス感染症に係る行政検査の取扱いの一部改正の伴う変更について
10月14日	・病院の耐震改修の状況の調査について ・医療機関での診療用放射線の安全利用の研修（動画を用いた研修）のご案内について ・「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援助成金」の支給要件の見直し及び「母性健康管理措置等に係る特別相談窓口」の開設に関する周知へのご協力のお願い ・令和２年台風第14号による災害により被災者に係る各種母子保健サービスの取扱い等について

送付日	文　書　名
10月15日	・季節性インフルエンザ，COVID-19流行を踏まえた発熱患者受け入れ体制（診療・検査医療機関）について ・予備費を活用した医療機関等への更なる支援について ・ヒトパピローマウイルス感染症に係る定期接種の対象者等への周知について ・令和２年度 インフルエンザ流行期に備えた発熱患者の外来診療・検査体制確保事業，電話体制整備事業の交付申請について ・「診療・検査医療機関（仮称）」等における「新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) 」を用いた受診者数等の報告について ・令和２年台風14号による災害により被災した要介護高齢者等への対応および被災者に係る被保険者証の提示等について ・令和２年度 地域医療介護総合確保基金（介護分）の内示（１回目）について ・麻薬及び向精神薬取締法施行規則の一部を改正する省令の一部の施行について ・インフルエンザの診断と治療について
10月16日	・令和２年度 宮崎県保健指導実施者初任者研修会の開催について
10月19日	・「新型コロナウイルス感染症に関する母性健康管理措置による休暇取得支援助成金」の支給要件の見直し及び「母性健康管理措置等に係る特別相談窓口」の開設に関する周知へのご協力について ・医療用医薬品の流通改善に向けた取組について ・「使用上の注意」の改訂について ・独立行政法人医薬品医療機器総合機構が実施する健康被害救済制度に関する集中広報の周知について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その36）」の送付について ・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度の周知について ・「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイダンスの一部改正について」等について ・新型コロナウイルス感染症対応医療従事者支援制度について ・新型コロナウイルス感染症の介護サービス事業所の支出への影響に関する実態把握について ・年金生活者支援給付金の支給に関する法律の改正に伴う対応について ・介護サービス事業所・施設等に勤務する職員に対する慰労金支給に係る協力の依頼について②（令和２年度 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金（介護分）） ・「低所得者に対する介護保険サービスに係る利用者負担額の軽減制度の実施について」の一部改正について
10月20日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その37）」の送付について
10月21日	・オンライン資格確認等システムの利用申請及びセキュリティについて ・新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令の一部を改正する政令等について ・令和２年度 厚生労働省病院前医療体制充実強化事業「救急救命士が行う救急救命処置に関する検討事業」救急救命処置の追加，除外等に関する提案の募集について ・次のインフルエンザ流行に備えた発熱患者等が医療機関を受診した場合の流れについて ・社会福祉施設等における感染拡大防止のための留意点について（その２）（一部改正） ・公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故情報収集等事業第62回報告書の送付について ・地域の医療機関向けマニュアルの送付とオンライン説明会開催のご案内について（HER-SYS関係）
10月22日	・N-ニトロソジメチルアミンが検出されたメトホルミン製剤の使用による健康影響評価の結果等について

送付日	文　書　名
10月23日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その38）」の送付について ・COVID-19JMATの登録および損害保険の改定について ・公益社団法人宮崎県医師会をとりまとめ機関とした新型コロナウイルス感染症の保険適用検査の実施について
10月26日	・「母体保護法の施行について」の一部改正について ・医療施設等における感染拡大防止のための留意点について（その２） ・国民健康保険被保険者証を無効とすることについて ・令和２年度 熊本県母体保護法指定医師研修会の開催について ・今冬の季節性インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の試行的なサーベイランスの研究に関する応募について ・ブルセラ症（４類感染症）の検査実施機関の変更について
10月27日	・地域医療介護総合確保基金（医療分）を活用した地域医療情報連携ネットワークに係る適切な予算執行の徹底について ・令和２年度 病床機能再編支援補助金について ・「季節性インフルエンザ，COVID-19流行を踏まえた発熱患者受け入れ体制（診療・検査医療機関）について」の一部加筆修正について ・季節性インフルエンザワクチンの供給等について
10月28日	・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その39）」の送付について ・新型コロナウイルス感染症に係る介護サービス事業所の人員基準等の臨時的な取扱いについて（第16報） ・外国人患者受入れ体制整備支援オンラインセミナーの開催案内について ・日医事務局におけるコンピュータウイルス感染について（続報２） ・令和２年度「児童虐待防止推進月間」の実施について ・令和２年度 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間の実施について
10月29日	・看護師の特定行為研修制度に係る「在宅領域における手順書例集」について ・医薬品副作用被害救済制度ｅラーニングの活用について ・ゲル充填人工乳房及び皮膚拡張器植込み患者等に対する情報提供文書について ・厚生労働省「疑義解釈資料の送付について（その40）」の送付について ・令和２年７月豪雨に伴う災害の被災者に係る一部負担金等の取扱いについて（その７）
10月30日	・労災保険指定医療機関事務必携（令和２年版）の周知依頼について ・医療施設等における感染拡大防止のための留意点について（その２） ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業等について

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
b	d	e	b	a, c, e	b，e	a	c	b	e

あとがき

11月１日，市民文化ホールで行われた「宮崎洋舞フェスティバル2020」の観覧に行きました。本年行われるはずだった国民文化祭・芸術文化祭が，新型コロナウイルスの影響により来年に延期となり，その先駆けプログラムとして開催にこぎつけたとのことでした。感染防止のためさまざまな点で対策がされており，事前の整理券配布，ネットでの住所・氏名・連絡先などの情報の事前登録，入場の際の体温測定，手指消毒など，多くの関門をクリアしてようやく入場ができました。幸いバレエの観覧なので歓声を上げるような場面はなく，また観客全員マスク着用のうえで席の間を空けて着席しており，感染リスクを感じる場面はありませんでした。宮崎の神話をテーマとした創作バレエでしたが，調和の取れたダイナミックかつ繊細な演技で，素晴らしい演目でした。感染対策に注力しながらの開催で，出演者・関係者の皆様は本当に大変だったことと思います。

本年１月から現在まで，今年は一年にわたって新型コロナウイルスに振り回された年でした。以前はマスクを付けての外出やソーシャルディスタンスなどは非日常でしたが，一年近くも続けているとすっかり日常の一部となってきました。普段の診療においても，コロナ患者の存在を前提としたうえでの診察が日常となっておりますが，気を緩めることなく引き続き対策を続けて行こうと思っています。（長井）

＊　＊　＊　＊　＊

劇場版鬼滅の刃を見てきました。TVアニメ版を見て，原作漫画も熟読していましたのでストーリーは分かっていたのですが，想像以上の映像の美しさ，大人でも胸を打たれるセリフの数々で，号泣する娘につられて？オジサンでも泣ける作品でした。残酷な描写もありますが，作品全体を通じて，家族愛，人間の強さ，弱さ，そして優しさが語られています。コロナ禍で大変な時代ですが，我々も「胸を張って生きろ，己の不甲斐なさにどれだけ打ちのめされようと心を燃やせ，歯を食いしばって前を向け（by　煉獄さん）」的な気持ちで頑張っていきたいものです。

P.S　お勧めの映画ですが予習していかないとついていけませんよ。（稲倉）

＊　＊　＊

米国大統領選が混沌としています。民主党候補者の勝利宣言後，各国首脳が祝辞を送っている。一方で共和党は，今回の郵便投票などによりさまざまな不正が発覚していると，訴訟を起こす事態になっており，敗北をまったく認めていない。このような状況に陥った原因は，やはり新型コロナウイルスやBLM騒動による影響があると思われる。いったいどちらが次期大統領になるのだろうか。いろいろ調べると，何が正しい情報なのか分からなくなってくる。同盟国の一国民として静観するしかない。（植田）

＊　＊　＊

開業して５年目頃からゴルフを始め，３－６回/年おきに約10回目のラウンドで101（HIBISCUS）まで順当に？進歩しましたが，その後，何に呪われたのか，ラウンドを重ねるたびに寸進尺退でした。最近，ゴルフを始めた前編集委員長Ｏ先生がラウンド４回目で90台前半をたたき出したと伺い，再度月いちゴルファーの魂に火がついて（憚りながら）Ｏ先生を叩き潰す夢を見ながら（返り討ちでしょうが）連日のように練習に励んでおります。（菊池）

クリニカル・クラークシップⅡが始まり毎日楽しく実習しています。クリクラⅠの時に比べると，やらせてもらえる手技や求められる知識もかなり増えて，忙しくもとても充実しています。周りの人に将来のことを聞かれることも多くなり自分の未来をイメージしようとしても，診療科や働く場所も自分自身で選べるというあまりに広い選択の幅に戸惑ってしまいます。今はあまり深刻になり過ぎずに，自分の興味や出会う人との縁を大切に，目の前の課題に取り組んでいきたいです。（河野(太)）

＊　＊　＊

先日，たかなべギョーザと馬渡の餃子をいただきました。宮崎に来て４年半になりますが，やっと食べることができました。ずっと食べてみたいなとは思ってたんですが，スーパーに売ってるわけでもなく，高鍋まで行くのも大変だなあとなかなか行けずにいました。そんな時にイオンモールでたくさんのお店が餃子を売りに来てくれました。少量で売ってくれるので，いろいろな餃子を食べ比べできたので良かったです。これで次からの実習も頑張れる気がします。（木村）

＊　＊　＊

スウェーデンからのヒトパピローマウイルスワクチンの論文を読むと，対象となる女性の５割がワクチンを接種すると集団免疫が獲得され，ワクチンを接種しない人にも恩恵が及ぶとのことです。ということは新型コロナウイルスワクチンも，国民の半数が接種すると集団免疫が達成されるのでしょうか？（佐々木）

今月のトピックス

メディアの目　**患者の姿勢**

引っ越しは，最大の断捨離と言われています。毎日新聞 宮崎支局長の梅山崇さんは，今年４月単身赴任ではなく，奥様と一緒に宮崎に転勤されました。そして，奥様の病気に気づくことができた。人生の転機はさまざまですが，住む場所を変えることには大きな意味があります。しかし，その転機は本人が真剣に向き合わないと出会えないものです。梅山さんは，奥様，そしてご自身の経験から大切な何かに気づかれたようです。医療を受けることへの姿勢。とても感慨深い内容です。

12ページ

私が推薦する本　**元彼の遺言状**

作者は，新川帆立さん。弁護士でありながらプロの麻雀士。そして，実父は宮崎市郡医師会病院の永井公洋先生です。今回，永井先生自身が，娘さんの本をご紹介いただきました。しかし，本の内容には触れておられません。作者の人物像を，愛情あふれる想いで紹介されています。来年１月発刊の本も楽しみですが，娘さんご本人にも会いたいと思うのは私だけでしょうか。大賞受賞作家の父の文章にも注目です。

18ページ

診療メモ　**不妊治療について**

不妊治療について，とても分かりやすく，ARTレディスクリニックやまうちの山内憲之先生に解説していただきました。命を授かるために，不妊症のご夫婦には，お金と時間が必要となります。しかし，その成功率は決して高くはないということ。専門医である山内先生から，すべての医療従事者へのメッセージも受け取ってください。

60ページ

日　州　医　事　第856号（令和２年12月号）（毎月１回10日発行）
発行人　公益社団法人　宮　崎　県　医　師　会　　会長　河野　雅行
〒880-0023　宮崎市和知川原１丁目101番地　TEL 0985-22-5118㈹・FAX 27-6550
http://www.miyazaki.med.or.jp/ E-mail:office@miyazaki.med.or.jp
編　集　宮崎県医師会広報委員会
委　員　長　野村　勝政・副委員長　稲倉　琢也
委　　員　山﨑　俊輔，植田　雄一，高橋　典子，菊池　英維，
石田　康行，長井　慎成
学生委員　河野　太地，河野　真菜，横山慎太郎，木村　桃子
担当副会長　山村　善教・担当理事　荒木　早苗，髙木　純一，佐々木　究
事　務　局　学術広報課　本崎　礼子，牧野　諭
印刷所　有限会社　中川印刷・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。
定　価　350円（但し，県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）